

## 中野区保育ニーズ調査の実施結果について

子ども・子育て支援法に基づく「中野区子ども・子育て支援事業計画」の中間の見直しに係る基礎資料を得ることを目的に実施した。

### 1 調査概要

- (1) 調査対象 乳幼児（0歳～5歳）の保護者
- (2) 抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出
- (3) 調査方法 郵送配布・回収による無記名アンケート
- (4) 調査期間 平成29年7月28日～8月23日まで

### 2 回収状況

| 調査対象          | 発送件数  | 回収件数  | 回収率   |
|---------------|-------|-------|-------|
| 乳幼児（0～5歳）の保護者 | 2,500 | 1,691 | 67.6% |

### 3 調査結果報告書

資料1のとおり

~~~~~

# 中野区保育ニーズ調査 結果報告書

~~~~~

平成29年（2017年）年11月  
中野区

# 目次

|                     |    |
|---------------------|----|
| 第1章 調査の概要           | 1  |
| 1. 調査の目的            | 1  |
| 2. 調査の設計            | 1  |
| 3. 回収結果             | 1  |
| 4. 報告書を読むにあたって      | 1  |
| 第2章 調査の結果           | 2  |
| 1. 子どもと家族の状況について    | 2  |
| (1) 調査回答者           | 2  |
| (2) 居住地域            | 3  |
| (3) 子どもの年齢          | 4  |
| (4) 子どもの人数と末子の年齢    | 4  |
| (5) 平日の保育施設利用       | 5  |
| 2. 保護者の就労状況について     | 9  |
| (1) 父親の就労状況         | 9  |
| (2) 母親の就労状況         | 12 |
| (3) 両親の就労形態からみた家庭類型 | 16 |
| 3. 教育・保育事業の利用状況     | 17 |
| (1) 利用希望            | 17 |
| (2) 幼稚園の利用希望        | 19 |
| (3) 保育施設の利用希望       | 27 |
| 4. 育児休業制度について       | 35 |
| 5. 区の子育て施策に関する意見・要望 | 38 |

# 第1章 調査の概要

## 1. 調査の目的

この調査は、子ども・子育て支援法に基づく「中野区子ども・子育て支援事業計画」の中間の見直しをするための基礎資料を得ることを目的に実施した。

## 2. 調査の設計

- (1) 調査対象 乳幼児（0歳～5歳）の保護者
- (2) 抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出
- (3) 調査方法 郵送配布・回収による無記名アンケート
- (4) 調査期間 平成29年7月28日～8月23日まで

## 3. 回収結果

| 調査対象          | 発送件数  | 回収件数  | 回収率   |
|---------------|-------|-------|-------|
| 乳幼児（0～5歳）の保護者 | 2,500 | 1,691 | 67.6% |

## 4. 報告書を読むにあたって

- (1) 「回答者数」について  
図表中の「回答者数」は、各設問に該当する回答者の総数であり、回答比率（%）の母数をあらわしている。
- (2) 図表の「%」（回答比率）について  
図表の「%」（回答比率）表記は、小数点第2位を四捨五入した値であるため、単数回答の質問項目でも合計が100%にならないことがある。複数回答の質問項目は、回答者数を100%として各選択肢の回答比率を算出しているため、合計は100%を超える。
- (3) 単純集計について  
回答結果の全体の傾向を捉えるため、単純集計を行い、その特徴等を記述している。単純集計のグラフにおいては、傾向をよりわかりやすくするために、選択肢を回答比率（%）の大きなものから小さなものへと並び換えて表示している場合がある。
- (4) クロス集計について  
特徴的な質問項目については、子どもの年齢などを分析の柱とするクロス集計表を掲載し、分析を行っている。  
クロス集計表の記載にあたり、分析の柱となる項目の「無回答」は掲載を省略している。したがって、分析の柱となる項目の回答者数の合計は、全体と一致しない場合がある。

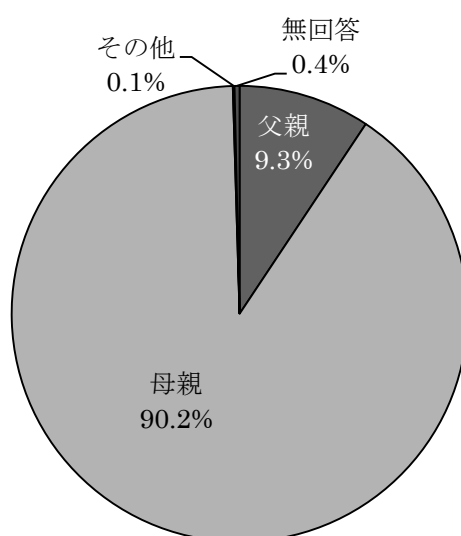
## 第2章 調査の結果

### 1. 子どもと家族の状況について

#### (1) 調査回答者

問1 この調査にご回答いただく方は、あて名のお子さんからみた続柄でどなたですか。  
(〇は1つ)

調査回答者は、「母親」が 90.2%を占め、「父親」は 9.3%となっています。その他の 0.1%は「祖父・祖母」でした。



【回答者数=1,691人】

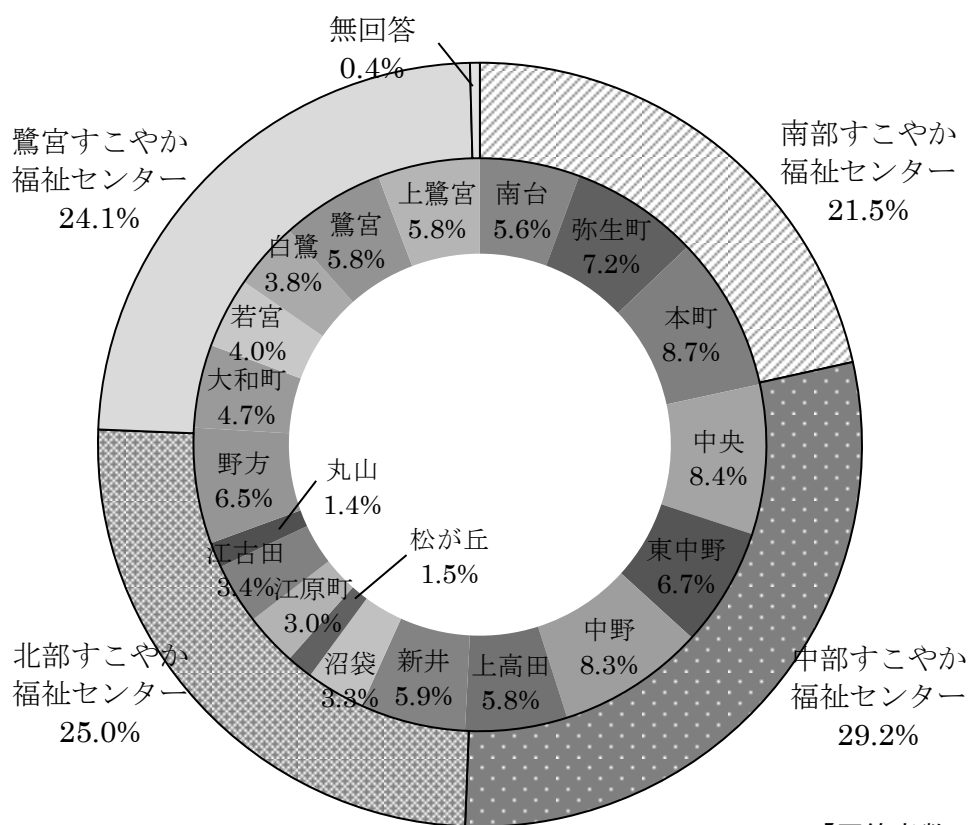
図表1-1 調査回答者(単数回答)

## (2) 居住地域

問2 お住まいの地域をお答えください。(○は1つ、( )内は数字を記入)

居住地域は、最も多いのは「本町」の8.7%、最も少ないのは「丸山」の1.4%となっています。

すこやか福祉センター管轄地域でみると、各すこやか福祉センターとも2割台であり、最も多いのが『中部すこやか福祉センター』の29.2%、最も少ないのが『南部すこやか福祉センター』の21.5%となっています。



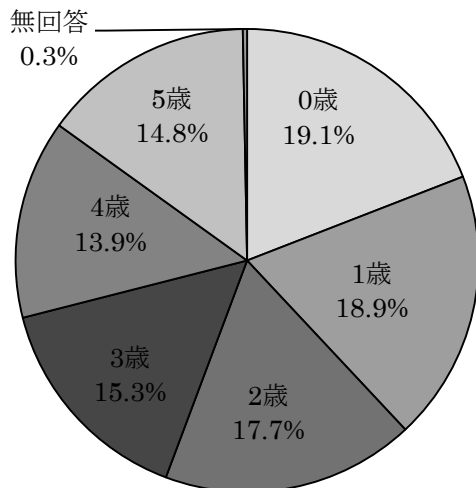
【回答者数=1,691人】

図表1-2 居住地域(単数回答)

### (3)子どもの年齢

問3 あて名のお子さんの生年月を記入してください。(数字を記入)

子どもの年齢（平成29年4月1日現在年齢）は、「0歳」が19.1%、「1歳」が18.9%、「2歳」が17.7%、「3歳」が15.3%、「4歳」が13.9%、「5歳」が14.8%となっています。



【回答者数=1,691人】

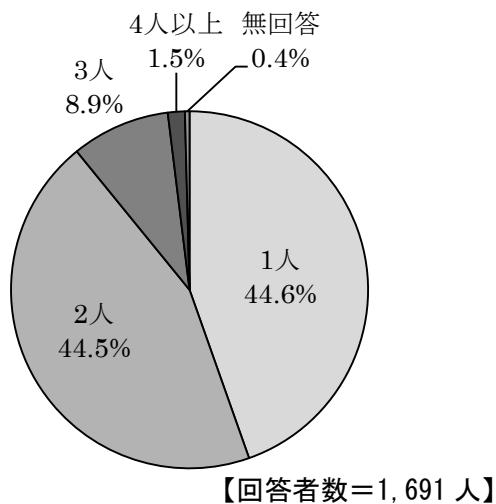
図表1-3 子どもの年齢(単数回答)

### (4)子どもの人数と末子の年齢

問4 あて名のお子さんを含め、お子さんは全部で何人いらっしゃいますか。2人以上いらっしゃる場合は、一番下のお子さんの生年月を記入してください。(数字を記入)

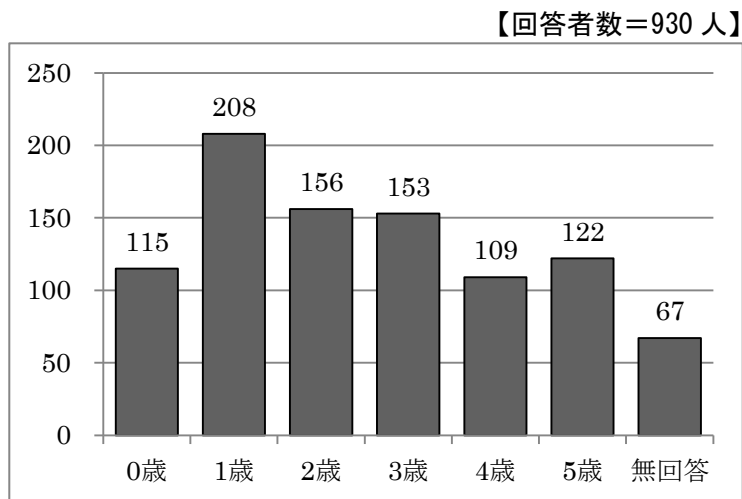
子どもの人数は、「1人」44.6%、「2人」44.5%、「3人」8.9%であり、平均1.6人となっています。

兄弟が2人以上の場合の末子の年齢（平成29年4月1日現在年齢）は、「1歳」22.4%、「2歳」16.8%、「3歳」16.5%の順となっています。



【回答者数=1,691人】

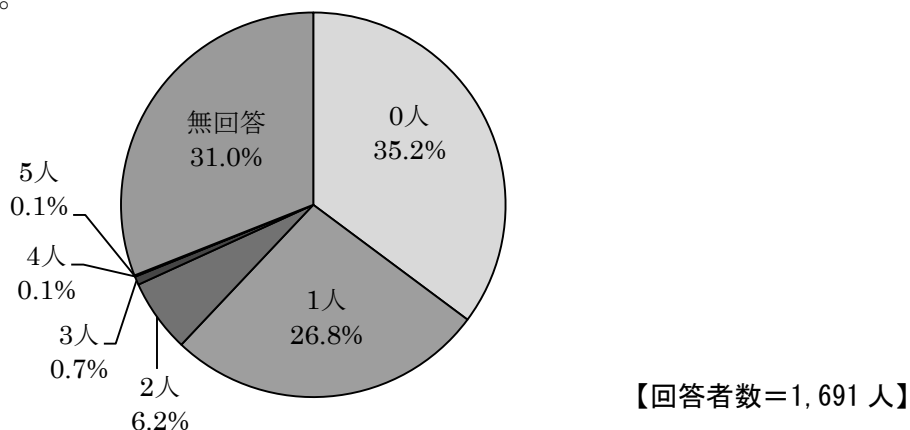
図表1-4 子どもの人数(単数回答)



【回答者数=930人】

図表1-5 末子の年齢(単数回答)

また、今後産みたい子どもの人数は、「0人」が35.2%と最も多く、次いで「1人」が26.8%となっています。



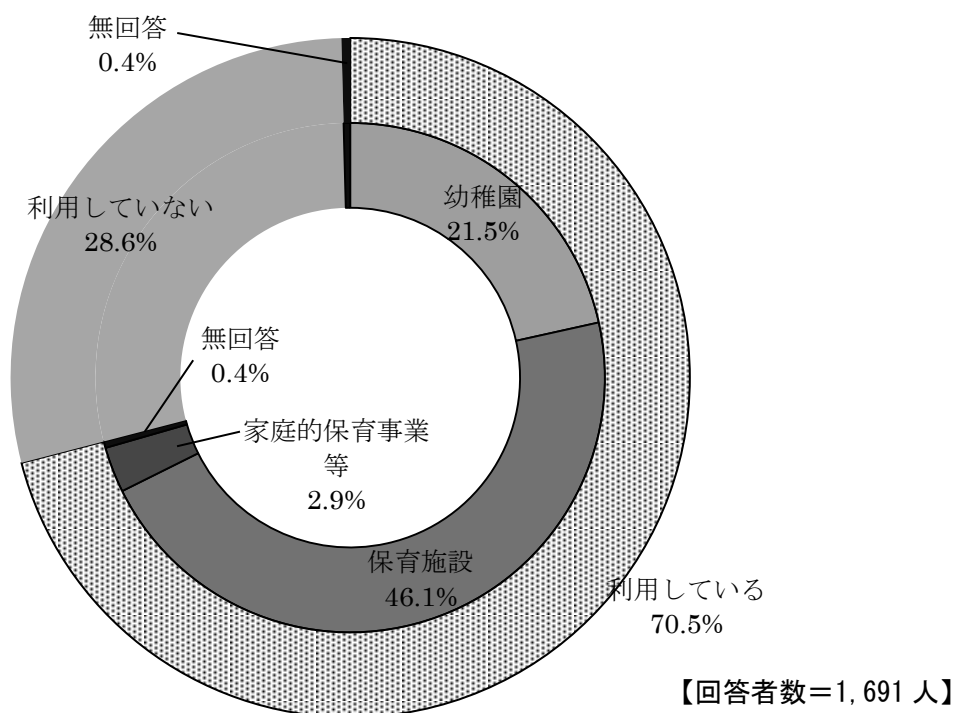
図表1-6 今後産みたい子どもの人数(単数回答)

#### (5) 平日の教育・保育施設利用

問5 あて名のお子さんは現在、平日に幼稚園や保育園などを利用していますか。(○は1つ)

問6 問5で「1利用している」に○をした方に伺います。利用している施設はどれですか。

平日の教育・保育施設利用は70.5%であり、その内訳は、「保育施設」が46.1%と最も多く、「幼稚園」が21.5%、「家庭的保育事業等」が2.9%となっています。



図表1-7 平日の教育・保育施設利用(単数回答)



平日の教育・保育施設の利用を子どもの年齢別にみると、「利用している」は、0歳は34.7%、1歳は58.4%、2歳は58.2%、3歳以上は各9割台となっています。

就労形態による家庭類型別にみると、「利用している」はひとり親家庭及びフルタイム共働き家庭は各8割台、フルタイム・パート共働き家庭は7割台、専業主婦（夫）家庭及び夫婦とも無業家庭は約5割となっています。

|                  |              | 回答者数<br>(人) | 利用<br>している | 利用<br>していない | 無<br>回答 |
|------------------|--------------|-------------|------------|-------------|---------|
| 全体               |              | 1,691       | 70.5       | 28.6        | 0.8     |
| 子どもの<br>年齢別      | 0歳           | 323         | 34.7       | 64.7        | 0.6     |
|                  | 1歳           | 320         | 58.4       | 40.9        | 0.6     |
|                  | 2歳           | 299         | 58.2       | 41.1        | 0.7     |
|                  | 3歳           | 259         | 95.0       | 5.0         | 0.0     |
|                  | 4歳           | 235         | 98.3       | 1.7         | 0.0     |
|                  | 5歳           | 250         | 98.8       | 1.2         | 0.0     |
| 就労形態による<br>家庭類型別 | ひとり親         | 52          | 84.3       | 15.7        | 0.0     |
|                  | フルタイム共働き     | 770         | 87.4       | 12.6        | 0.0     |
|                  | フルタイム・パート共働き | 244         | 75.8       | 23.8        | 0.4     |
|                  | 専業主婦（夫）      | 611         | 48.0       | 51.2        | 0.8     |
|                  | パートタイム共働き    | 5           | 20.0       | 80.0        | 0.0     |
|                  | 夫婦とも無業       | 8           | 50.0       | 50.0        | 0.0     |

図表1-8 子どもの年齢・両親の就労形態による家庭類型からみた平日の教育・保育施設利用

平日の教育・保育施設利用を子どもの年齢別にみると、0～2歳は「保育施設」が最も多く、1歳は約9割となっています。また、3歳以上の幼稚園・保育施設利用者は9割台となっています。

就労形態による家庭類型別にみると、ひとり親家庭、フルタイム共働き家庭及びフルタイム・パート共働き家庭は「保育施設」が最も多く、ひとり親及びフルタイム共働き家庭は約9割が利用しています。専業主婦（夫）家庭は「幼稚園」が約9割と最も多く、パートタイム共働き家庭及び夫婦とも無業家庭は、全家庭「幼稚園」と回答しています。

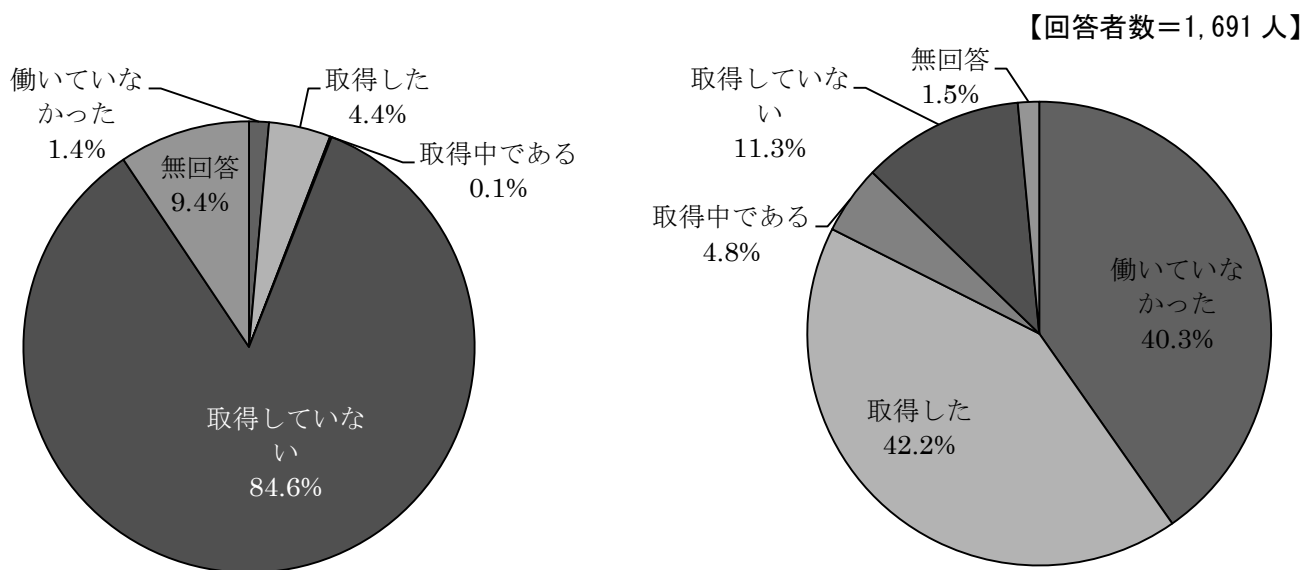
|                  |              | 回答者数<br>(人) | 幼稚園   | 保育施設 | 家庭的<br>保育事業 | 無回答 |
|------------------|--------------|-------------|-------|------|-------------|-----|
| 全体               |              | 1,200       | 30.3  | 65.0 | 4.1         | 0.6 |
| 子どもの<br>年齢別      | 0歳           | 112         | 0.0   | 84.8 | 15.2        | 0.0 |
|                  | 1歳           | 187         | 0.0   | 89.3 | 10.2        | 0.5 |
|                  | 2歳           | 174         | 12.6  | 78.7 | 7.5         | 1.1 |
|                  | 3歳           | 246         | 44.7  | 54.9 | 0.0         | 0.4 |
|                  | 4歳           | 231         | 49.8  | 50.2 | 0.0         | 0.0 |
|                  | 5歳           | 247         | 47.4  | 51.4 | 0.0         | 1.2 |
| 就労形態による<br>家庭類型別 | ひとり親         | 43          | 9.3   | 88.4 | 2.3         | 0.0 |
|                  | フルタイム共働き     | 671         | 2.5   | 91.8 | 5.7         | 0.3 |
|                  | フルタイム・パート共働き | 183         | 42.6  | 53.6 | 3.8         | 1.1 |
|                  | 専業主婦（夫）      | 290         | 89.7  | 9.3  | 1.0         | 1.0 |
|                  | パートタイム共働き    | 1           | 100.0 | 0.0  | 0.0         | 0.0 |
|                  | 夫婦とも無業       | 4           | 100.0 | 0.0  | 0.0         | 0.0 |

1-9 子どもの年齢・両親の就労形態による家庭類型からみた平日利用している施設

(6) 育児休業

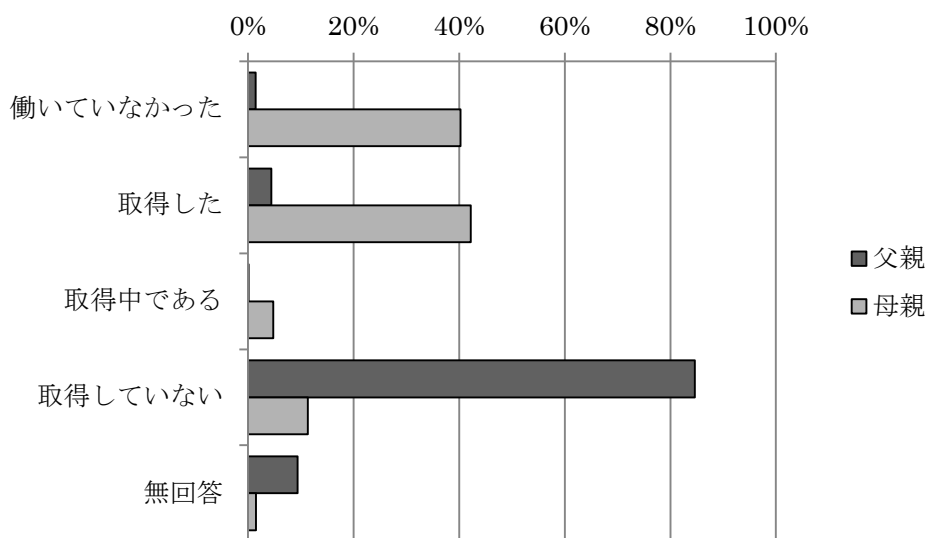
問7-1 あて名のお子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。①父親。(〇は1つ)

問7-1 あて名のお子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。②母親。(〇は1つ)



図表1-10 父親の育児休業(単数回答)

図表1-11 母親の育児休業(単数回答)



## 2. 保護者の就労状況について

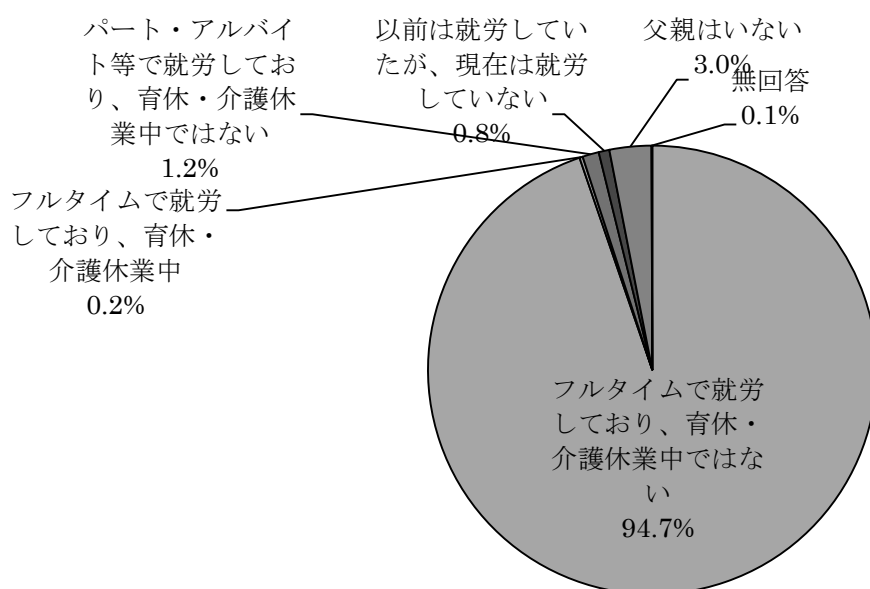
### (1) 父親の就労状況

#### ① 就労形態

問8 あて名のお子さんの父親について、現在の就労状況をお答えください。(〇は1つ)

父親の就労形態は、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が 94.7% を占め、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中」の 0.2% をあわせた 94.9% が『フルタイムで就労している』と回答しています。

なお、質問項目のうち、「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中」「これまで就労したことがない」については、いずれも 0% でした。



【回答者数=1,691人】

図表2-1 父親の就労形態(単数回答)

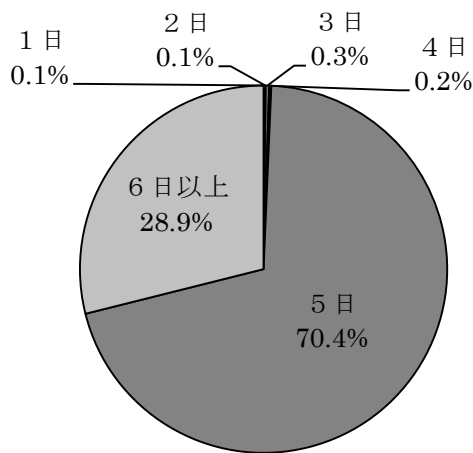
#### ② 就労状況

問8-1 「1~4」(就労している)に〇をした方に伺います。①1週あたり就労日数・1日あたり就労時間(残業時間を含む)、②家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。(数字を記入)

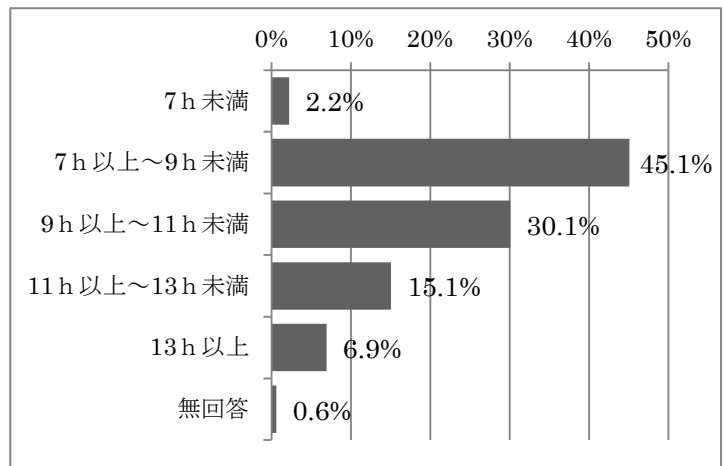
「就労している」と回答した1,626名のうち、フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している人の1週あたり就労日数は、「5日」が70.4%を占めています。1日あたり就労時間は「7時間以上~9時間未満」が45.1%、「9時間以上11時間未満」が30.1%の順となっています。

家を出る時刻は、「8時台」が38.9%と最も多く、次いで「7時台」が23.1%となっています。帰宅時刻は、「21~22時台」が33.7%と最も多く、次いで「19~20時台」が30.8%となっています。

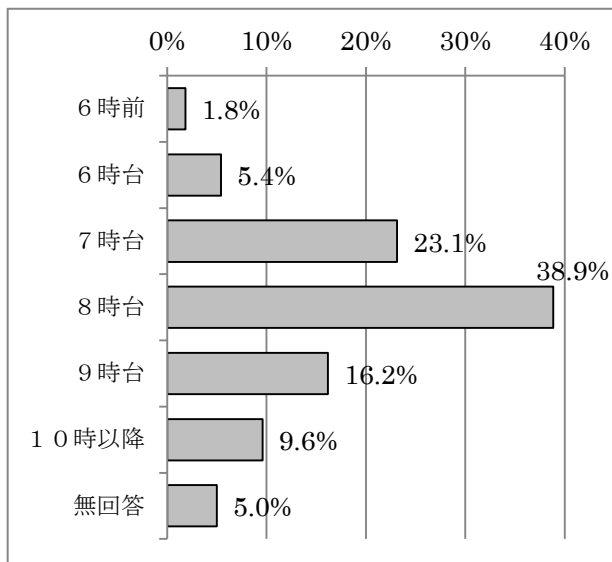
【回答者数=1,626人】



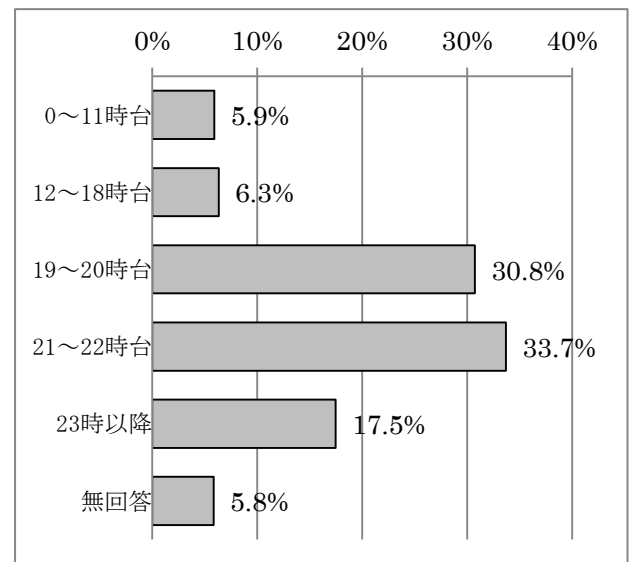
図表2-2 1週あたり就労日数(単数回答)



図表2-3 1日あたり就労時間(単数回答)



図表2-4 家を出る時刻(単数回答)

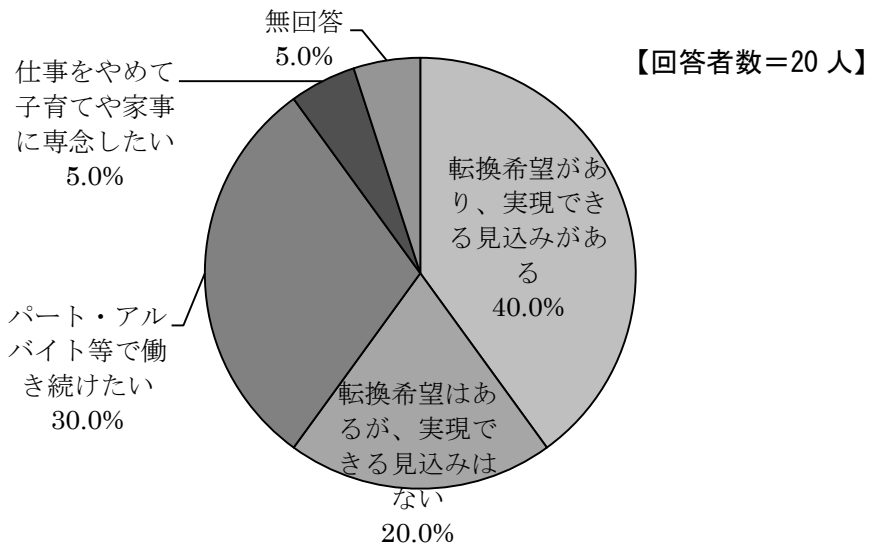


図表2-5 帰宅時刻(単数回答)

### ③パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望

問8-2 「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をした方に伺います。  
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はありますか。  
(○は1つ)

「パート・アルバイト等で就労している」と回答した20名のうちパートタイム就労者のフルタイムへの転換希望は、「転換希望があり、実現できる見込みがある」が40.0%、次いで「パート・アルバイト等で働き続けたい」が30.0%、「転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が20.0%、となっています。



図表2-6 パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望(単数回答)

#### ④未就労者の就労意向

問8-3 「5」または「6」(就労していない)に○をした方に伺います。1年以内に就労したいという希望はありますか。

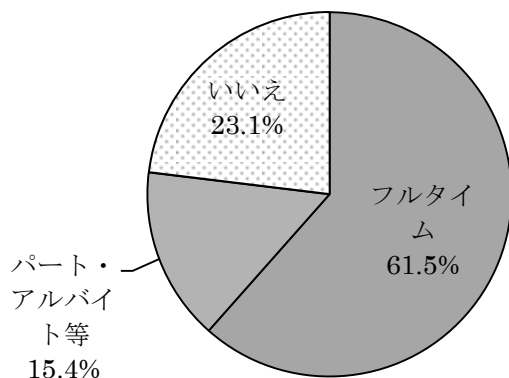
問8-4 問8-3で「1.はい」と答えた方に伺います。

①希望する就労形態をお答えください。(○は1つ)

問8-4 ②パート・アルバイト等の就労を希望した方の週あたりの「希望日数」(数字を記入)

問8-4 ③パート・アルバイト等の就労を希望した方の1日あたりの「希望時間」(数字を記入)

「就労していない」と回答した13名の就労意向は、「1年以内に就労したい」が76.9%を占め、うち、フルタイムでの就労希望が61.5%、「パート・アルバイト等」が15.4%となっています。



パート・アルバイト等の就労を希望した方(2名)の週あたりの希望日数は、それぞれ「4日」と「5日」。希望時間は「5時間」と「8時間」でした。

【回答者数=13人】

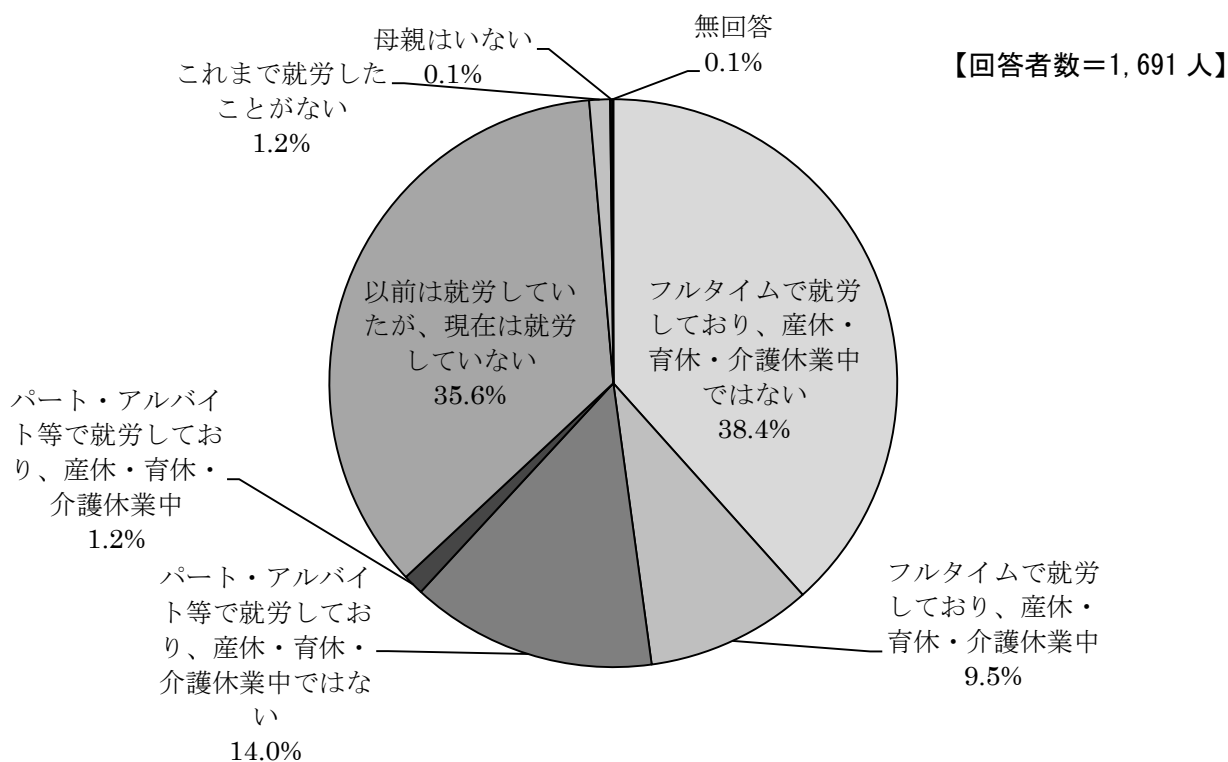
図表2-7 未就労者の就労意向(単数回答)

## (2) 母親の就労状況

### ① 就労形態

問9 あて名のお子さんの母親について、現在の就労状況をお答えください。(〇は1つ)

母親の就労形態は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が38.4%と最も多くなっています。「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中」の9.5%をあわせた47.9%が『フルタイムで就労している』と回答しています。また、『パート・アルバイト等で就労している』人は15.2%となっています。



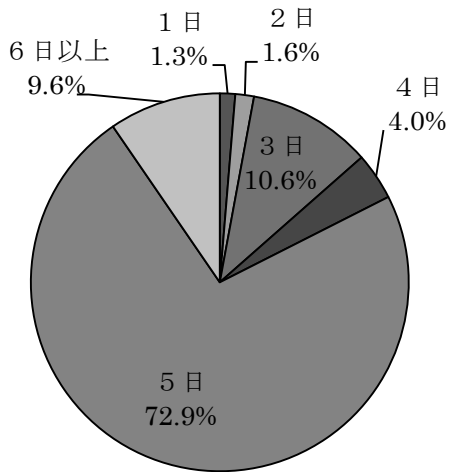
図表2-8 母親の就労形態(単数回答)

### ② 就労状況

問9-1 「1~4」(就労している)に〇をした方に伺います。①1週あたり就労日数・1日あたり就労時間(残業時間を含む)、②家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。  
(数字を記入)

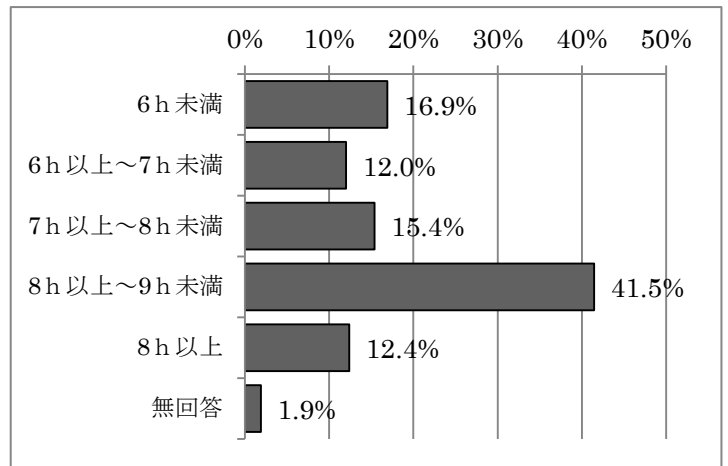
「就労している」と回答した1,066名のうち、フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している人の1週あたり就労日数は、「5日」が72.9%を占めています。1日あたり就労時間は「8時間以上~9時間未満」が最も多く、41.5%となっています。

家を出る時刻は、「8時台」が38.9%と最も多く、次いで「7時台」が23.1%となっています。帰宅時刻は、「18時台」が32.8%と最も多く、次いで「19時台」が23.5%となっています。

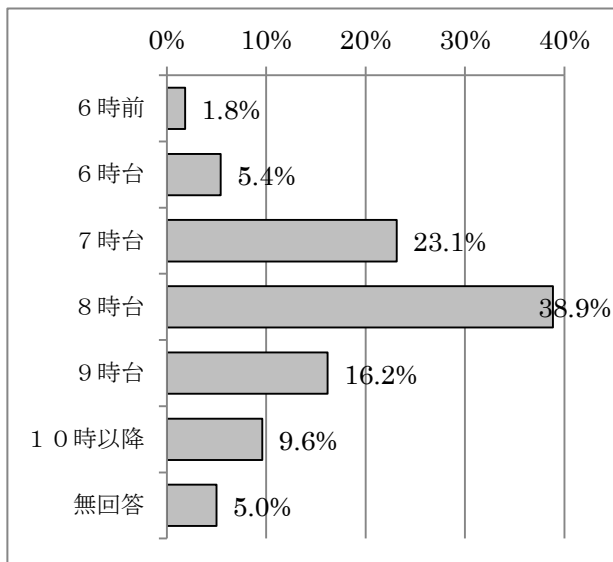


図表2-9 1週あたり就労日数(単数回答)

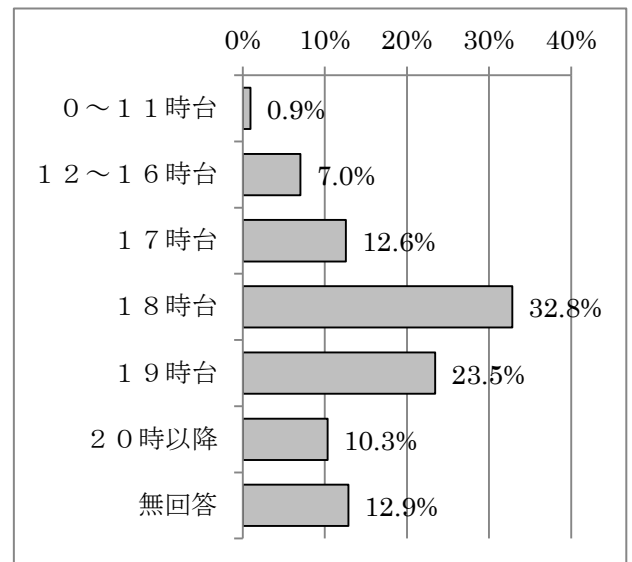
【回答者数=1,066人】



図表2-10 一日あたり就労時間(単数回答)



図表2-11 家を出る時刻(単数回答)



図表2-12 帰宅時刻(単数回答)

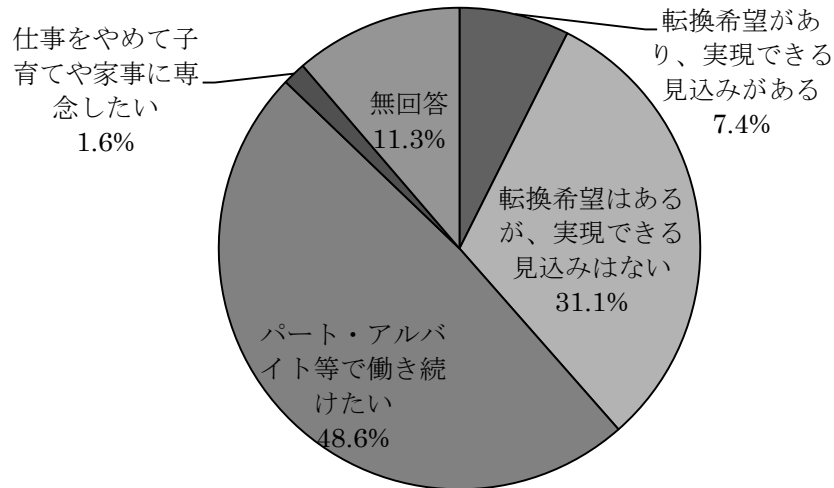
### ③パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望

問9-2 「3」または「4」(パート・アルバイト等で就労している)に○をした方に伺います。  
フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転換希望はありますか。  
(○は1つ)

「パート・アルバイト等で就労している」と回答した257名のうちパートタイム就労者のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等で働きたい」が48.6%、次いで「転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が31.1%となっています。



【回答者数=257人】



図表2-13 パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望(単数回答)

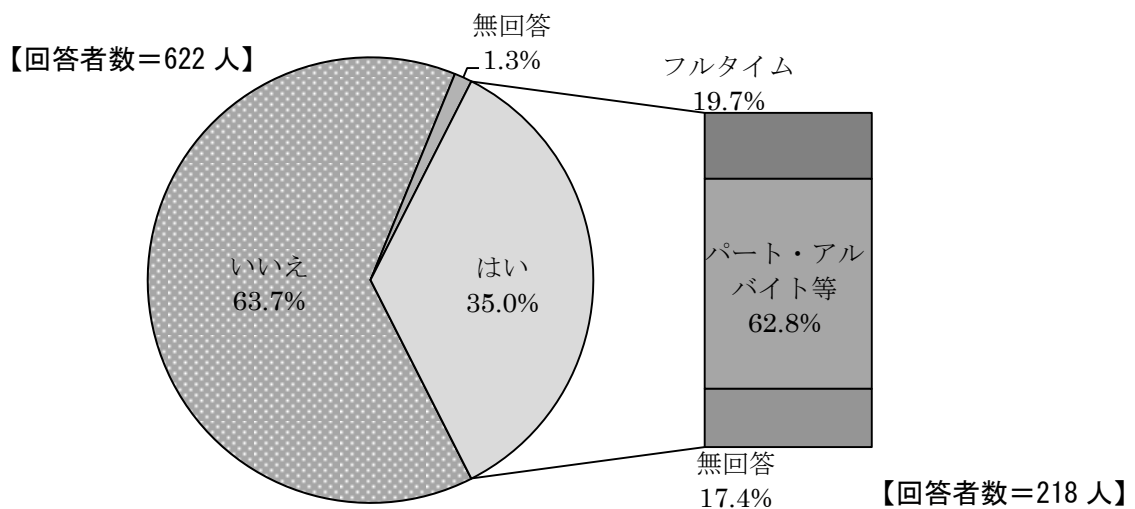
#### ④未就労者の就労意向

問9-3 「5」または「6」(就労していない)に○をした方に伺います。1年以内に就労したいという希望はありますか。

問9-4 問9-3で「1.はい」と答えた方に伺います。

①希望する就労形態をお答えください。(○は1つ)

「就労していない」と回答した622名の就労意向は、「1年以内に就労したい」が35%、うち、フルタイムでの就労希望が19.7%、「パート・アルバイト等」が62.8%となっています。

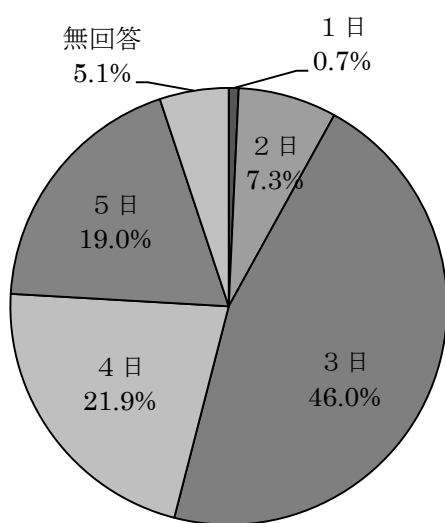


図表2-14 未就労者の就労以降及び希望する勤務形態(単数回答)

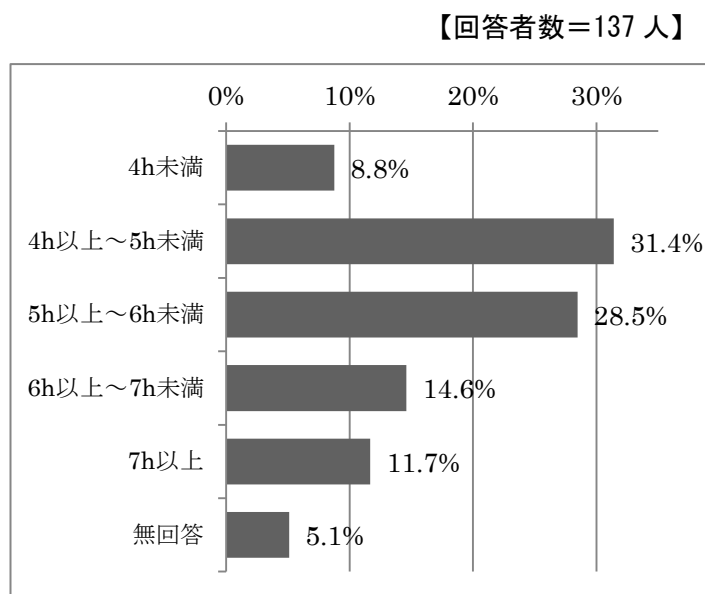
問9-4 ②パート・アルバイト等の就労を希望した方の週あたりの「希望日数」(数字を記入)

問9-4 ③パート・アルバイト等の就労を希望した方の1日あたりの「希望時間」(数字を記入)

「パート・アルバイト等の就労を希望する」と回答した137名の週あたりの希望勤務日数は、「3日」が46%と最も多く、1日あたりの希望勤務時間は「4時間以上5時間未満」が31.4%、次いで「5時間以上～6時間未満」が28.5%となっています。



図表2-15 週あたり希望日数(単数回答)

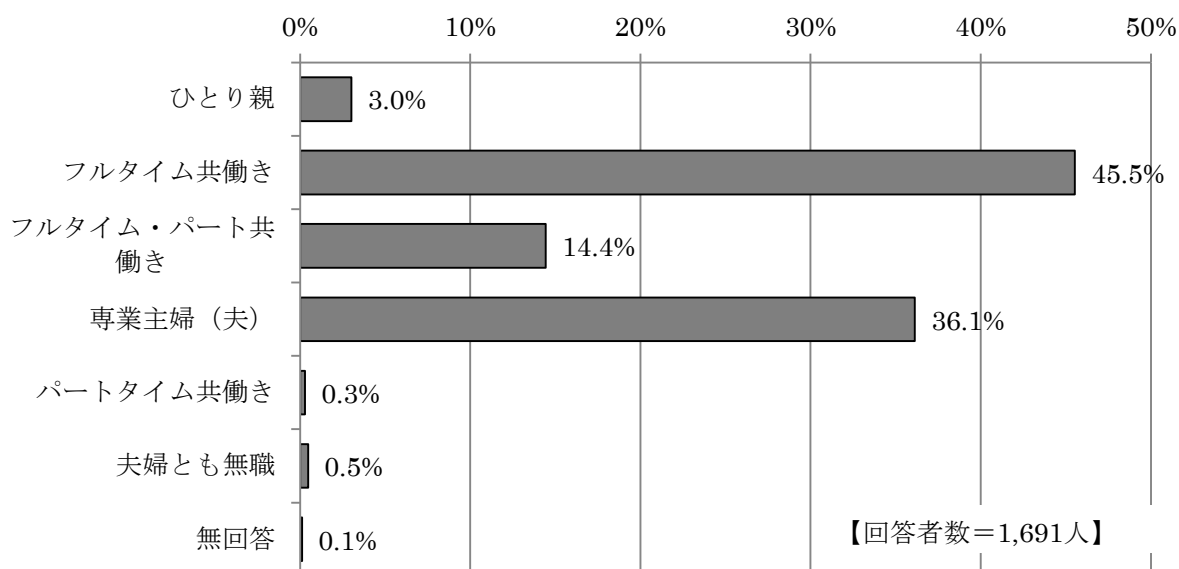


図表2-16 1日あたり希望時間(単数回答)

### (3) 両親の就労形態からみた家庭類型

両親の就労形態からみた家庭類型は、「フルタイム共働き」が45.5%と最も多く、次いで「専業主婦（夫）」36.1%、「フルタイム・パート共働き」14.4%、「ひとり親」3.0%などとなっています。

子どもの年齢別にみると、「フルタイム共働き」は0歳では54.5%となっていますが、多少変動はあるものの年齢が高くなるほど割合は減少し、5歳では37.6%となっています。



図表2-17 両親の就労形態からみた家庭類型(単数回答)

単位 (%)

|         | 回答者数 (人) | ひとり親 | フルタイム共働き | フルタイム・パート共働き | 専業主婦（夫） | パートタイム共働き | 夫婦とも無職 | 無回答 |     |
|---------|----------|------|----------|--------------|---------|-----------|--------|-----|-----|
|         |          |      |          |              |         |           |        |     |     |
| 全体      | 1691     | 3.0  | 45.5     | 14.4         | 36.1    | 0.3       | 0.5    | 0.1 |     |
| 子どもの年齢別 | 0歳       | 323  | 0.6      | 54.5         | 9.9     | 33.7      | 0.6    | 0.6 | 0.0 |
|         | 1歳       | 320  | 2.5      | 50.3         | 13.1    | 33.4      | 0.3    | 0.3 | 0.0 |
|         | 2歳       | 299  | 2.0      | 41.5         | 13.0    | 42.8      | 0.3    | 0.3 | 0.0 |
|         | 3歳       | 259  | 5.0      | 45.2         | 13.1    | 35.9      | 0.0    | 0.4 | 0.0 |
|         | 4歳       | 235  | 2.6      | 40.4         | 17.4    | 39.1      | 0.4    | 0.0 | 0.0 |
|         | 5歳       | 250  | 6.4      | 37.6         | 22.4    | 32.4      | 0.0    | 1.2 | 0.0 |

図表2-18 両親の就労形態からみた家庭類型

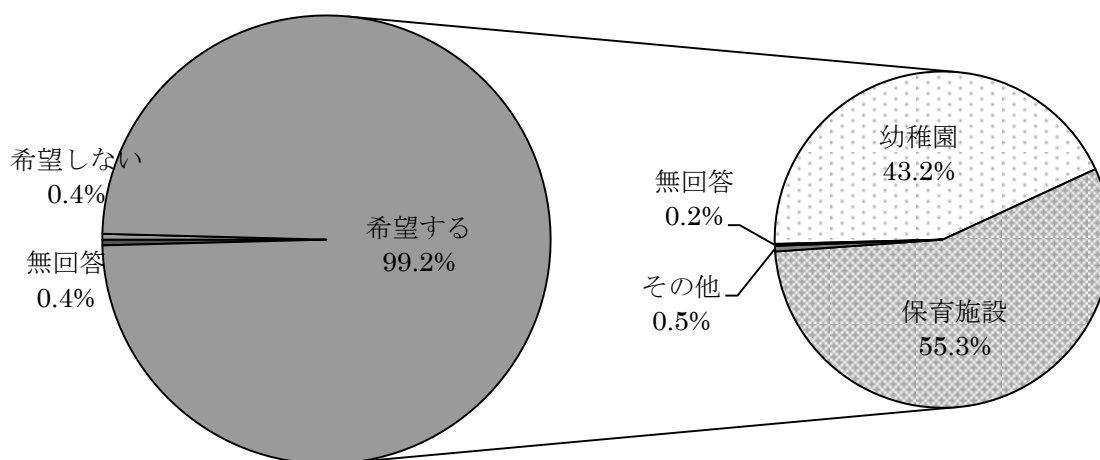
### 3. 教育・保育事業の利用状況

#### (1) 利用希望

問10 現在、あて名のお子さんが幼稚園や保育園等を利用している、利用していないにかかわらず、お子さんが就学前の6歳までの間に幼稚園や保育園の利用を希望しますか。  
(○は1つ)

問11 問10で「1希望する」に○をした方に伺います。  
あて名のお子さんを平日に利用させたい施設はどれですか。(○は1つ)

「幼稚園や保育園の利用希望」は、99.2%であり、利用希望施設としては、「保育施設」が55.3%、幼稚園が43.2%でした。  
【回答者数=1,691人】



図表3-1 利用希望の有無(単数回答)

図表3-2 利用させたい施設(単数回答)

両親の就労形態からみた家庭類型ごとに利用希望の有無をみると、「パートタイム共働き」は全体の80.0%が「希望する」に回答しており、そのほかの家庭類型は98%以上が「希望する」に回答しています。

利用させたい施設をみると、ひとり親家庭、フルタイム共働き家庭、フルタイム・パート共働き家庭及びパートタイム共働き家庭は「保育施設」が最も多く、ひとり親家庭及びフルタイム共働き家庭は約9割が希望しています。専業主婦（夫）家庭は「幼稚園」が最も多く、約9割が希望しています。

|              | 回答者数<br>(人) | 希望する  | 希望しない | 未回答 |
|--------------|-------------|-------|-------|-----|
| 全体           | 1,691       | 99.1  | 0.4   | 0.5 |
| ひとり親         | 52          | 98.0  | 2.0   | 0.0 |
| フルタイム共働き     | 770         | 99.5  | 0.0   | 0.5 |
| フルタイム・パート共働き | 243         | 99.2  | 0.8   | 0.0 |
| 専業主婦（夫）      | 611         | 99.2  | 0.5   | 0.3 |
| パートタイム共働き    | 5           | 80.0  | 20.0  | 0.0 |
| 夫婦とも無業       | 8           | 100.0 | 0.0   | 0.0 |

図表3-3 両親の就労形態からみた家庭類型別利用希望の有無

|              | 回答者数 | 幼稚園  | 保育施設 | その他 | 無回答 |
|--------------|------|------|------|-----|-----|
| 全体           | 1685 | 43.3 | 55.4 | 0.5 | 0.7 |
| ひとり親         | 49   | 8.2  | 89.8 | 2.0 | 0.0 |
| フルタイム共働き     | 770  | 7.7  | 91.3 | 0.4 | 0.6 |
| フルタイム・パート共働き | 242  | 47.9 | 50.8 | 0.4 | 0.8 |
| 専業主婦（夫）      | 608  | 89.0 | 9.9  | 0.7 | 0.5 |
| パートタイム共働き    | 5    | 40.0 | 60.0 | 0.0 | 0.0 |
| 夫婦とも無業       | 8    | 87.5 | 12.5 | 0.0 | 0.0 |

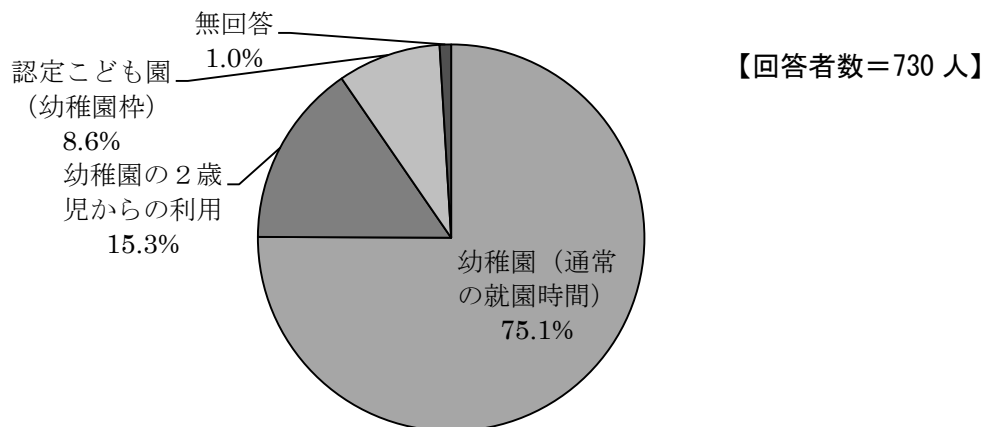
図表3-4 両親の就労形態からみた家庭類型別利用させたい施設

## (2) 幼稚園の利用希望

### 《平日に幼稚園利用を希望する方に伺います》 (問12～問19)

問12 年間を通じて利用したい幼稚園の種類はどれですか。(〇は1つ)

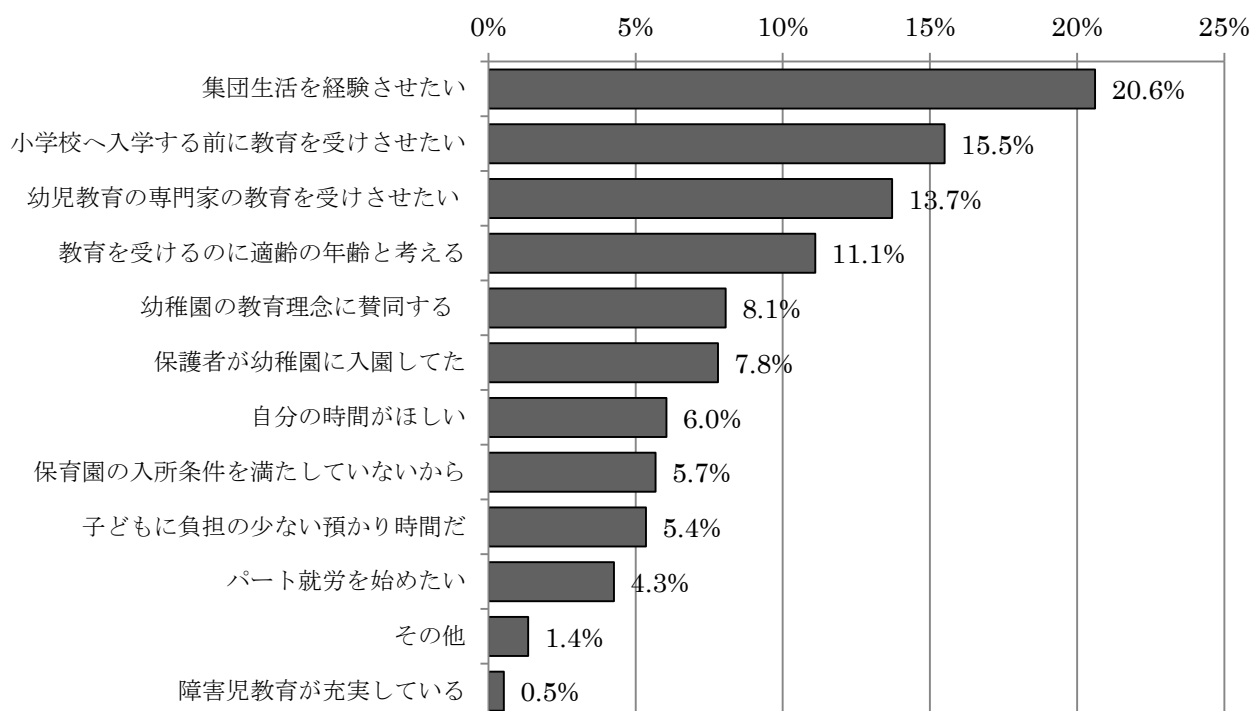
平日に幼稚園利用を希望した730名のうち、「通常の就園時間の幼稚園」との回答が最も多く、75.1%となっています。



図表3-5 利用させたい幼稚園の種類(単数回答)

問13 幼稚園を希望した主な理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに〇)

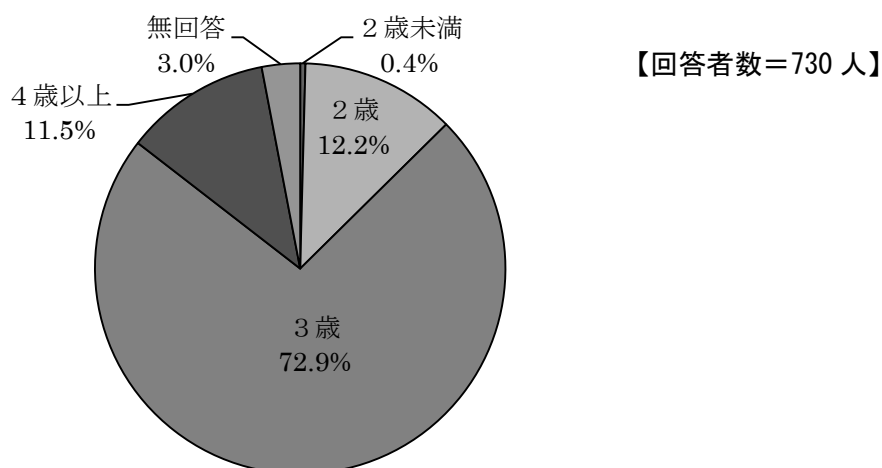
幼稚園を希望した主な理由は、「集団生活を経験させたい」が20.6%と最も多く、次いで「小学校へ入学する前に教育を受けさせたい」が15.5%、「幼児教育の専門家の教育を受けさせたい」が13.7%となっています。



図表3-6 幼稚園を希望した理由(複数回答)

問14-1 あて名のお子さんを何歳から希望する幼稚園に入園させたいですか。

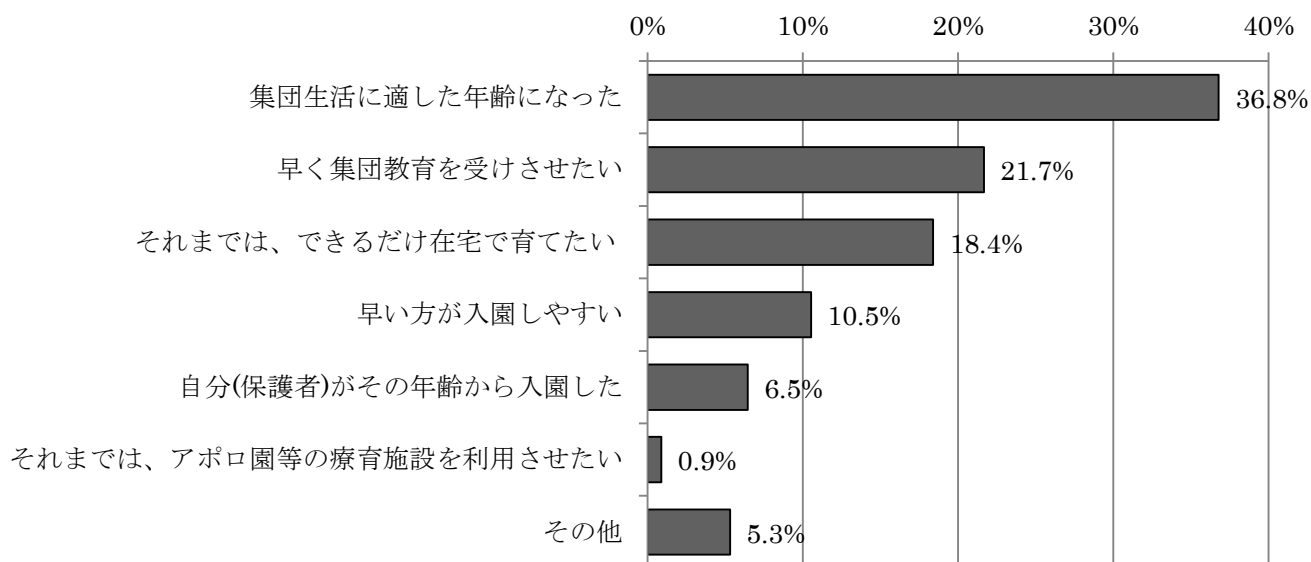
入園を希望する年齢としては、「3歳」が72.9%と大半を占めています。



図表3-7 幼稚園入園を希望する年齢

問14-2 あて名のお子さんを希望する年齢から幼稚園に入園させたい理由はなんですか。  
(あてはまる番号すべてに○)

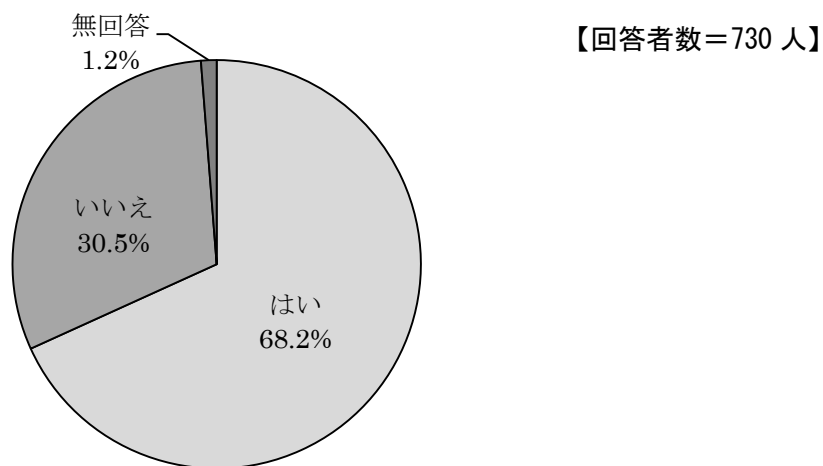
その年齢に入園させたい理由としては、「集団生活に適した年齢になった」が36.8%と最も多く、次いで「早く集団教育を受けさせたい」が21.7%となっています。



図表3-8 希望する年齢から入園させたい理由(複数回答)

問15 あて名のお子さんについて、平日、幼稚園での預かり保育の利用を希望しますか。  
(〇は1つ)

平日、幼稚園での預かり保育の利用については、「はい」が68.2%と半数以上となっています。



図表3-9 平日の預かり保育の希望(単数回答)

両親の就労状況による家庭類型別にみると、ひとり親家庭及びフルタイム・パート共働き家庭の8割台、フルタイム共働き家庭の約7割、専業主婦(夫)家庭の約6割が預かり保育の利用を希望しています。

|              | 回答者数 | はい   | いいえ  | 無回答  |
|--------------|------|------|------|------|
| 全体           | 730  | 67.9 | 30.5 | 1.5  |
| ひとり親         | 5    | 80.0 | 20.0 | 0.0  |
| フルタイム共働き     | 59   | 71.2 | 18.6 | 10.2 |
| フルタイム・パート共働き | 116  | 86.2 | 13.8 | 0.0  |
| 専業主婦(夫)      | 541  | 63.6 | 35.7 | 0.7  |
| パートタイム共働き    | 2    | 50.0 | 0.0  | 50.0 |
| 夫婦とも無業       | 7    | 71.4 | 28.6 | 0.0  |

図表3-10 両親の就労状況による家庭類型別にみた平日の預かり保育の希望



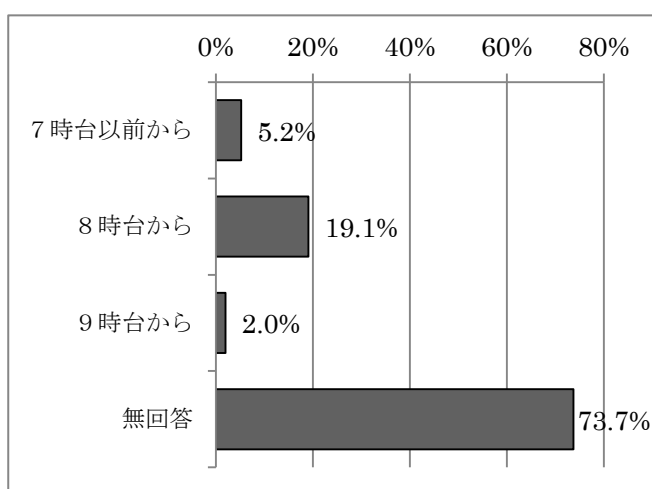
問16 問15で「1はい」に○をした方に伺います。あて名のお子さんについて、希望する幼稚園の長時間の預かり保育についてお答えください。

- 1-① 預かってほしい時間（午前の開始時間）
- ② 預かってほしい時間（午後の終了時間）
- 2 預かってほしい週あたりの「利用日数」

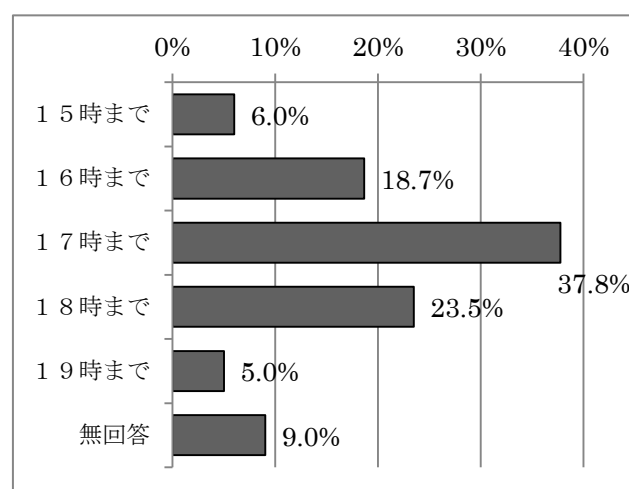
平日、幼稚園での預かり保育の利用を希望した498名のうち、預かって欲しい時間の希望は、開始時間「8時台から」が19.1%、終了時間「17時まで」が37.8%と、それぞれ最も多くなっています。

また、週あたりの預かり希望日数は「5日」が27.5%、次いで「3日」が24.5%となっています。

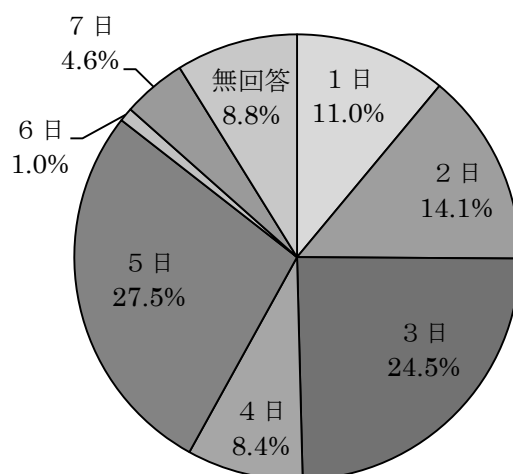
【回答者数=498人】



図表3-11 預かってほしい午前の開始時間



図表3-12 預かってほしい午後の終了時間



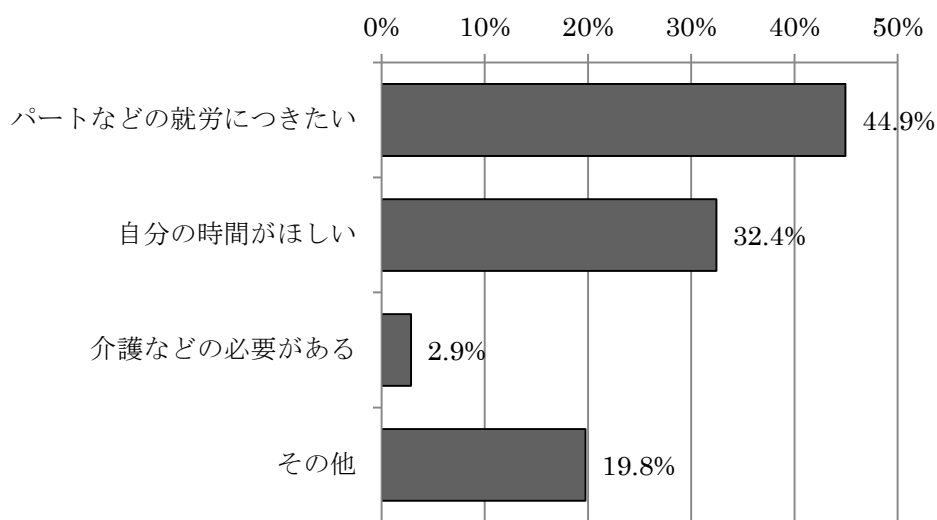
図表3-13 預かってほしい週あたりの希望日数

問17 平日に幼稚園での預かり保育の利用を希望する方に伺います。利用を希望する理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

平日に幼稚園での預かり保育を希望する663名のうち、希望理由としては「パートなどの就労につきたい」が44.9%となっています。

また、「その他」としては、「通院などの用事がある時」「フルタイムで働いているため」「下の子の世話や用事があるため」などが多く理由として挙げられていました。

(コメント 126 件)

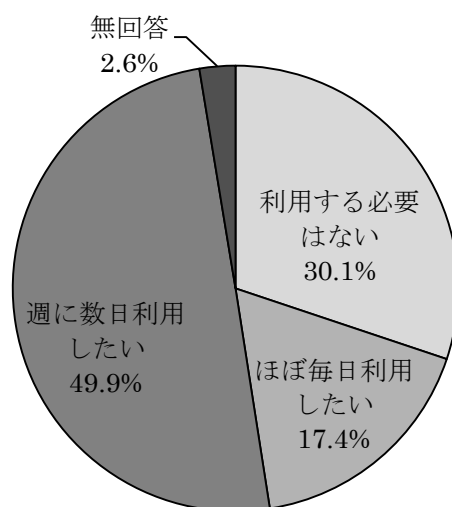


【回答者数=663人】

図表3-14 平日の預かり保育を希望する理由

問18 あて名のお子さんについて、幼稚園の夏休み・冬休みの利用（預かり保育）を希望しますか。希望する場合は、利用したい時間帯を記入してください。

幼稚園の夏休み・冬休みの利用（預かり保育）については、「週に数日利用したい」が49.9%と約半数を占め、「ほぼ毎日利用したい」と回答した17.4%と合わせ、67.3%が希望しています。

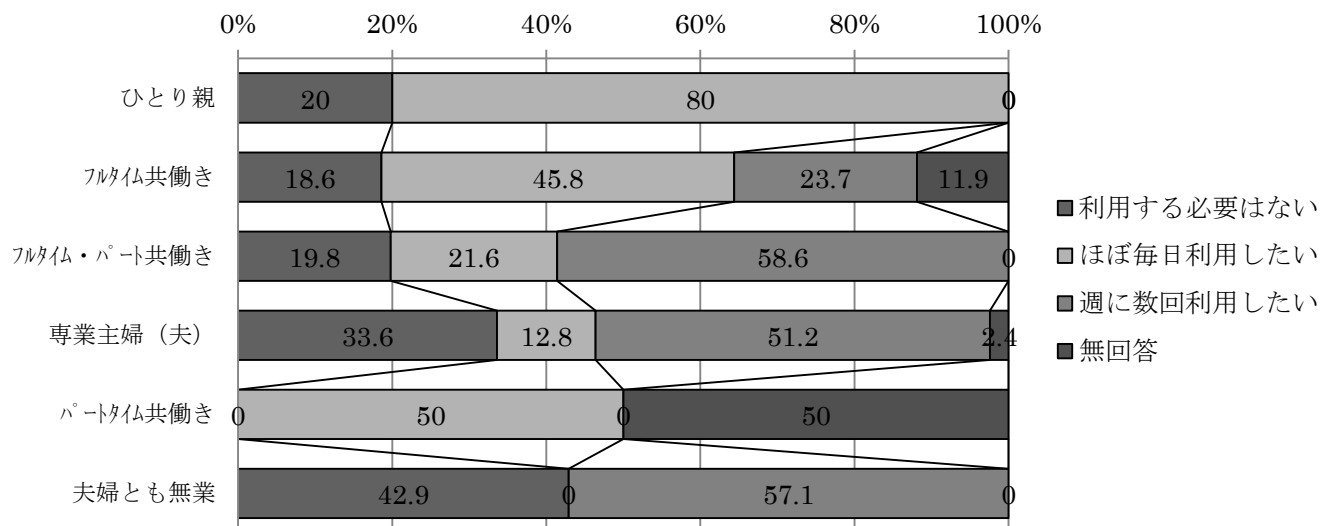


【回答者数=730人】

図表3-15 夏休み等の預かり保育の希望

両親の就労状況による家庭類型別にみると、「利用する必要はない」という回答が一番多かった家庭はなく、全家庭で約3割です。ひとり親家庭、フルタイム共働き家庭及びパートタイム共働き家庭は「ほぼ毎日利用したい」が一番多く、ひとり親で8割、フルタイム共働き家庭及びパートタイム共働き家庭で約5割になります。フルタイム・パート共働き家庭、専業主婦(夫)家庭及び夫婦とも無業家庭は「週に数回利用したい」が一番多く、各5割台になります。

|              | 回答者数(人) | 利用する必要はない | ほぼ毎日利用したい | 週に数回利用したい | 無回答  |
|--------------|---------|-----------|-----------|-----------|------|
| 全体           | 730     | 30.1      | 17.3      | 49.7      | 2.9  |
| ひとり親         | 5       | 20.0      | 80.0      | 0.0       | 0.0  |
| フルタイム共働き     | 59      | 18.6      | 45.8      | 23.7      | 11.9 |
| フルタイム・パート共働き | 116     | 19.8      | 21.6      | 58.6      | 0.0  |
| 専業主婦(夫)      | 541     | 33.6      | 12.8      | 51.2      | 2.4  |
| パートタイム共働き    | 2       | 0.0       | 50.0      | 0.0       | 50.0 |
| 夫婦とも無業       | 7       | 42.9      | 0.0       | 57.1      | 0.0  |



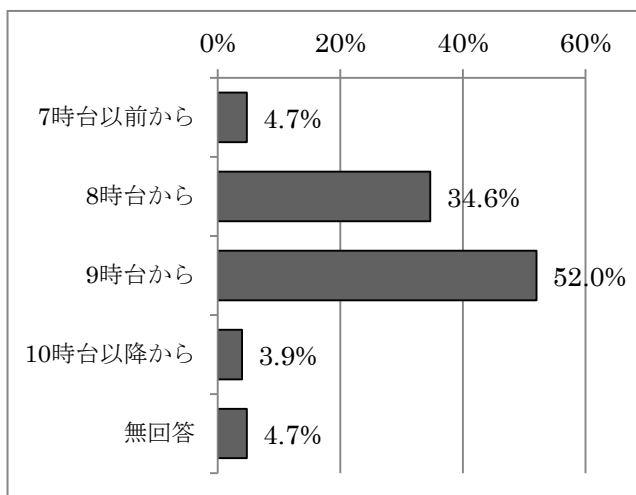
図表3-16 両親の就労状況による家庭類型別にみた夏休み等預かり保育の希望

問18 あて名のお子さんについて、幼稚園の夏休み・冬休みの利用（預かり保育）を希望する場合。

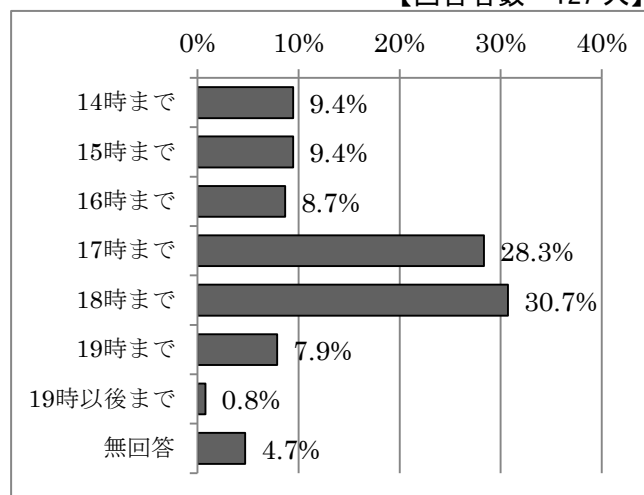
- ①「ほぼ毎日利用したい」方の希望開始時間
- ②「ほぼ毎日利用したい」方の希望終了時間

幼稚園の夏休み・冬休みの利用（預かり保育）について「ほぼ毎日利用したい」と回答した127名について、利用希望時間は、開始時間「9時台から」が52.0%、終了時間「18時まで」が30.7%と、それぞれ最も多くなっています

【回答者数=127人】



図表3-17 預かってほしい午前の開始時間



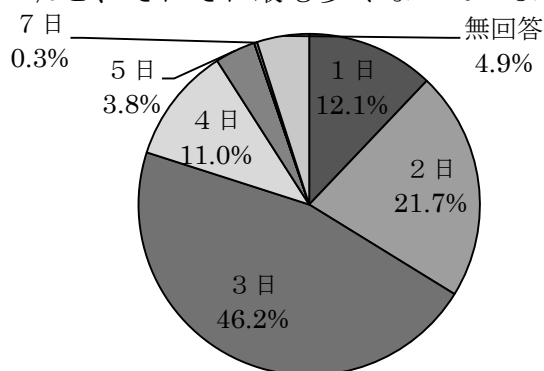
図表3-18 預かってほしい午後の終了時間

問18 あて名のお子さんについて、幼稚園の夏休み・冬休みの利用（預かり保育）を希望する場合。

- ③「週に数日利用したい」方の週あたりの希望「利用日数」
- ④「週に数日利用したい」方の希望開始時間
- ⑤「週に数日利用したい」方の希望終了時間

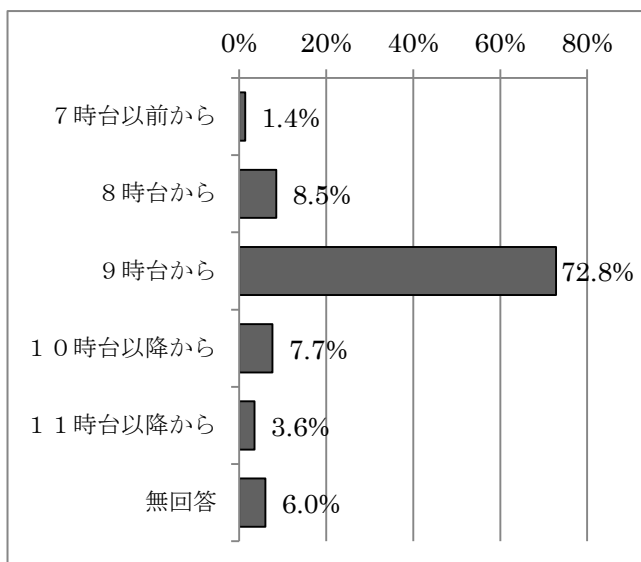
幼稚園の夏休み・冬休みの利用（預かり保育）について「ほぼ毎日利用したい」と回答した364名について週あたりの預かり希望日数は「3日」が46.2%、次いで「2日」が21.7%となっています。

また、預かって欲しい時間の希望は、開始時間「9時台から」が72.8%、終了時間が「17時まで」が23.1%と、それぞれ最も多くなっています。

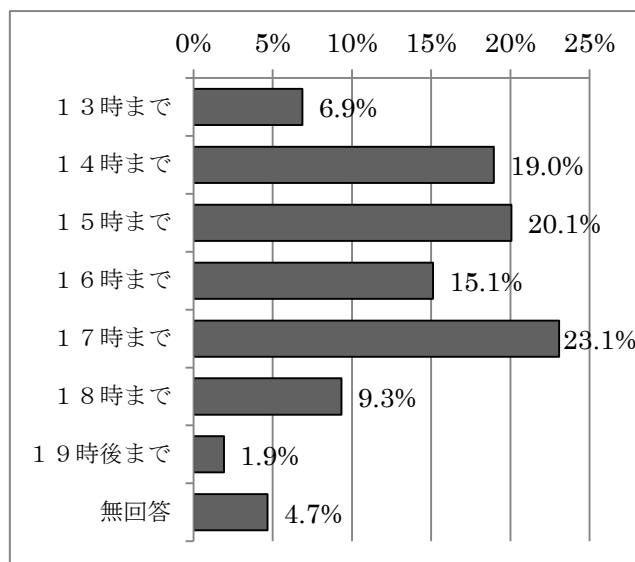


【回答者数=364人】

図表3-19 「ほぼ毎日利用希望」夏休み等預かり保育の希望



図表3-20 預かってほしい午前の開始時間

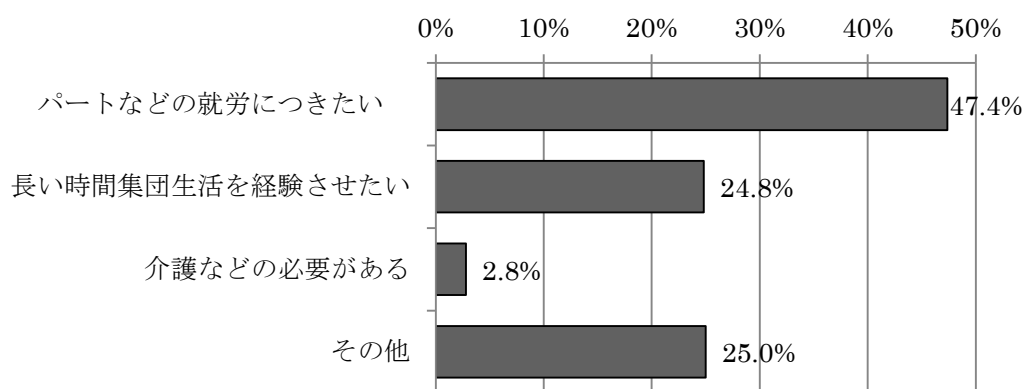


図表3-21 預かってほしい午後の終了時間

問19 問18で幼稚園の夏休み・冬休みの利用（預かり保育）を希望した方に伺います。幼稚園の夏休み・冬休みの利用（預かり保育）を希望する理由はなんですか。  
（あてはまる番号すべてに○）

幼稚園の夏休み・冬休みの利用（預かり保育）について「ほぼ毎日利用したい」「週に数日利用したい」と回答した491名について、希望理由としては「パートなどの就労につきたい」が47.4%と最も多くなっています。

また、「その他」としては、「フルタイム勤務のため」「友だちと遊ばせたい」「子どもが楽しめるから」「慣れてきた集団生活を維持したい」などの理由が挙げられています。  
（コメント134件）



図表3-22 夏休み等の預かり保育を希望する理由

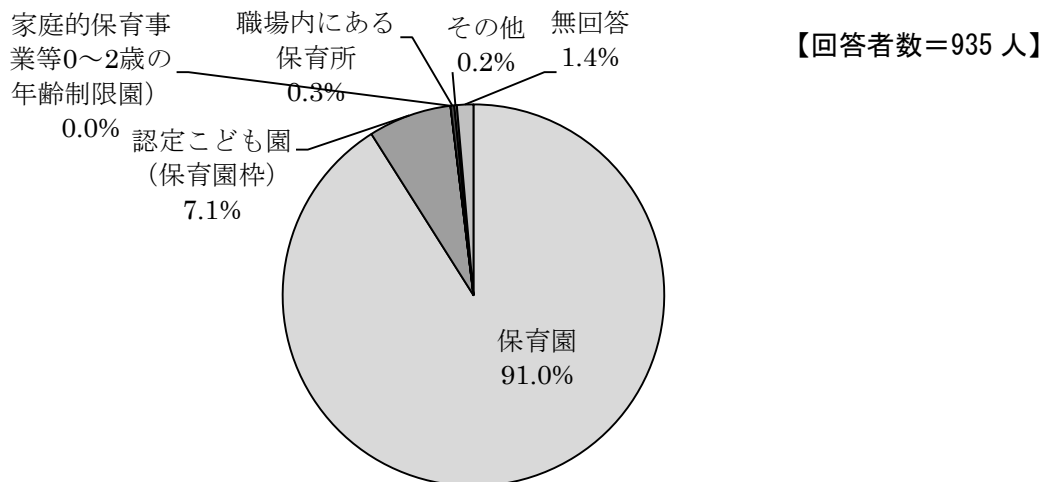
【回答者数=491人】

### (3) 保育施設の利用希望

#### 《平日に保育施設の利用を希望する方に伺います》(問20～問24)

問20 年間を通じて利用したい保育施設はどれですか。(〇は1つ)

年間を通じて利用したい保育施設としては、「保育園」が91.0%と大半を占めています。

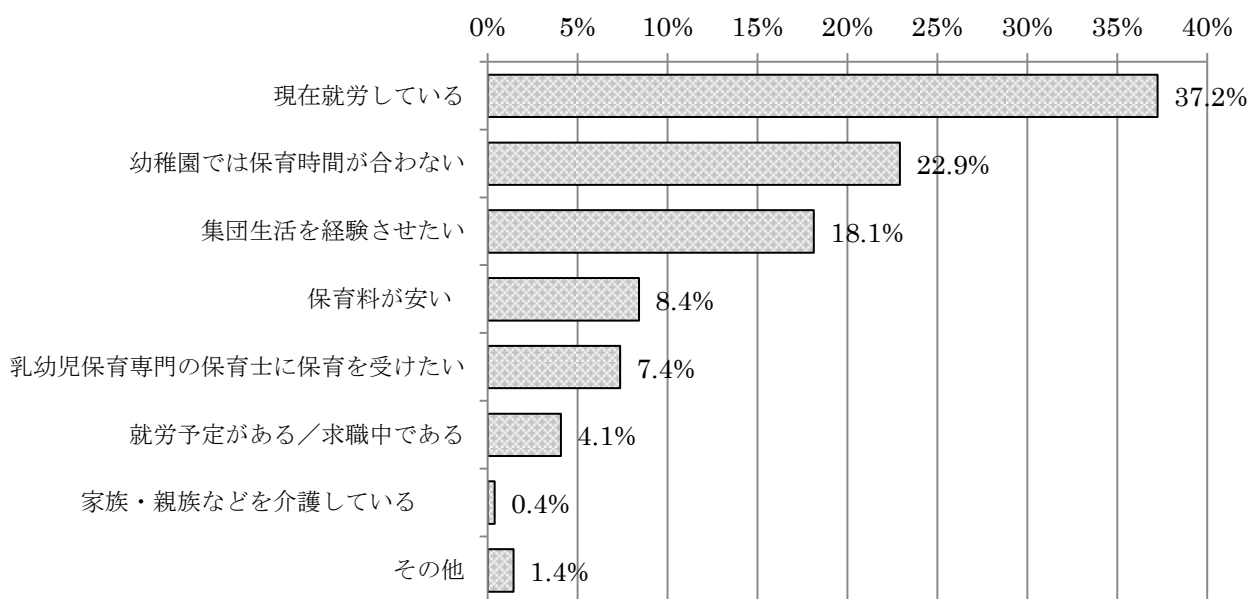


図表3-23 年間を通じて利用したい保育施設

問21 保育施設を希望した主な理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに〇)

保育施設を希望した理由としては、「現在就労している」が37.2%と最も多く、次いで「幼稚園では保育時間が合わない」が22.9%となっていました。

また、「その他」の理由としては、「幼稚園は弁当や夏休みがある」「身内が近くにいない」「家から近い」などが挙げられていました。(コメント31件)



図表3-24 保育施設を希望する理由

問22-1 あて名のお子さんを何歳から希望する保育施設に入園させたい、またはさせていますか。

保育施設に入園させたい年齢は、「0歳」が47.6%と最も多く、次いで「1歳」が36.7%であり、「2、3歳」が各7%台となっています。

【回答者数=935人】

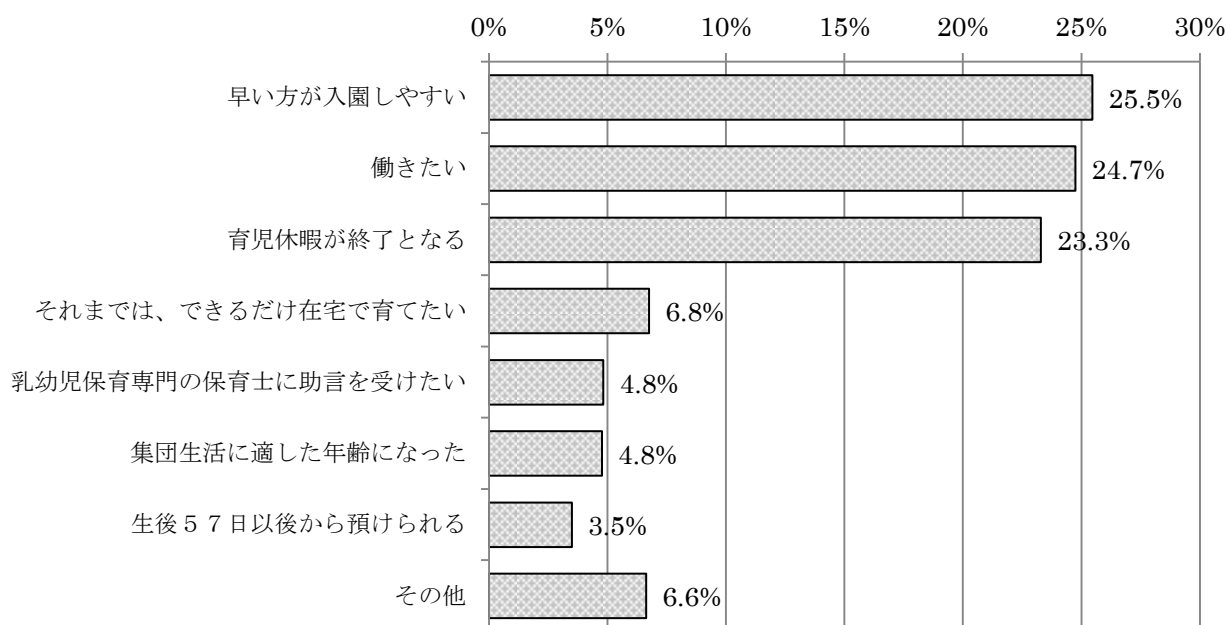
|      |     | 入園を希望する／入園した年齢 |       |       |       |      |
|------|-----|----------------|-------|-------|-------|------|
|      |     | 0歳             | 1歳    | 2歳    | 3歳    | 4歳   |
| 子の年齢 | 0歳児 | 55.7%          | 37.1% | 5.2%  | 1.9%  | 0.0% |
|      | 1歳児 | 48.7%          | 40.1% | 6.1%  | 5.1%  | 0.0% |
|      | 2歳児 | 44.8%          | 39.9% | 6.3%  | 8.4%  | 0.7% |
|      | 3歳児 | 40.6%          | 34.8% | 13.8% | 8.7%  | 2.2% |
|      | 4歳児 | 38.6%          | 36.8% | 12.3% | 11.4% | 0.9% |
|      | 5歳児 | 51.5%          | 29.2% | 5.4%  | 13.8% | 0.0% |
|      |     | 47.6%          | 36.7% | 7.7%  | 7.4%  | 0.5% |

図表3-25 年齢別保育施設に入園させたい/させた年齢

問22-2 あて名のお子さんを希望する年齢から保育施設に入園させたい理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

希望する年齢から保育園に入園させたい理由としては、「早い方が入園しやすい」「働きたい」「育児休暇が終了となる」がいずれも2割台となっています。

また、「その他」の理由として、「希望する園に入れなかったため」「上の子の保育継続ができるように」「産休しか取れなかったから」「育休が取れない」などが挙げられています。(コメント105件)

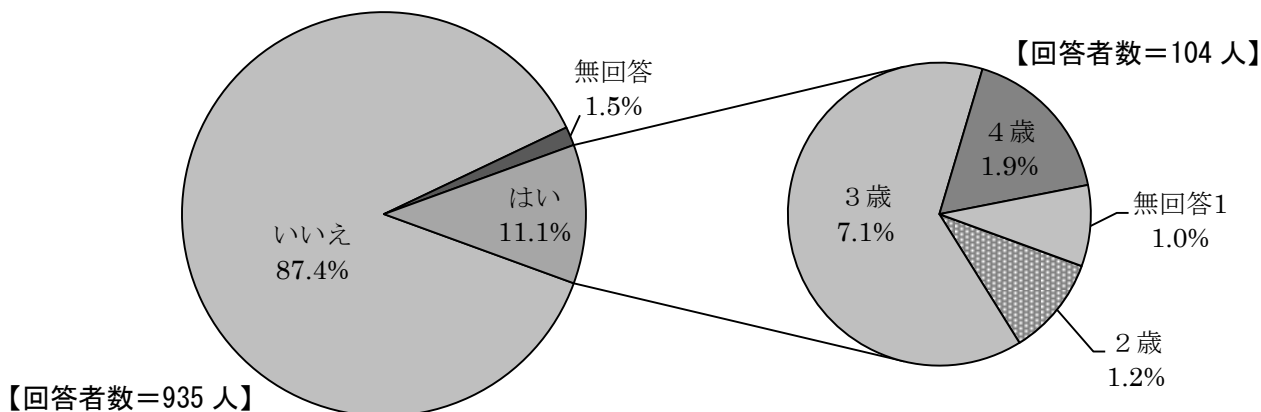


図表3-26 希望する年齢から保育施設に入園させたい理由

問23 あて名のお子さんの年齢に合わせて、保育園の利用から幼稚園の利用に変更を希望しますか。(〇は1つ)

①幼稚園の利用に変更を希望する場合、何歳から幼稚園を利用しますか。(年齢に〇)

年齢に合わせて、保育園の利用から幼稚園の利用に変更を希望するかについては、「いいえ」が87.4%と大半を占め、「はい」のうち、幼稚園を利用したい年齢は「3歳」からが最も多くなっています。



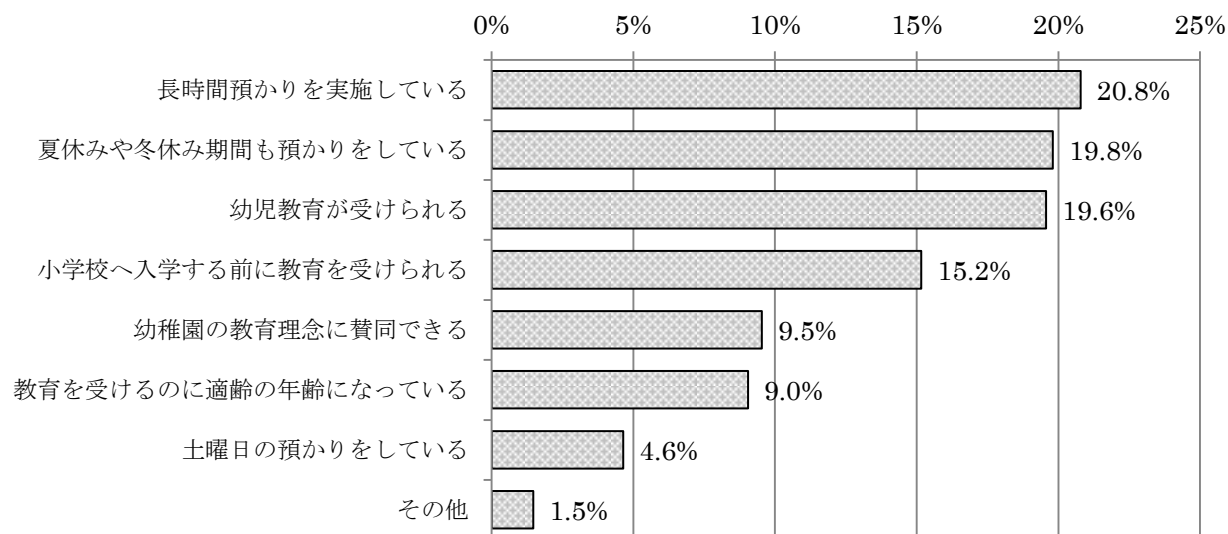
図表3-27 保育園から幼稚園への利用変更の希望の有無と希望する年齢

問23 ②幼稚園の利用に変更する際に、大事なことは何ですか。

(あてはまる番号すべてに〇)

幼稚園の利用に変更する際、大事なこととされているのは、「長時間預かりを実施している」が20.8%、「夏休みや冬休み期間も預かりをしている」「幼児教育が受けられる」がいずれも19%台となっています。

また、「その他」として、「仕事を辞め主婦になる場合に幼稚園に変更になる」「長時間預かりが難しい時は保育園で」などがありました。(コメント6件)



図表3-28 保育園から幼稚園への利用変更の際の重点事項

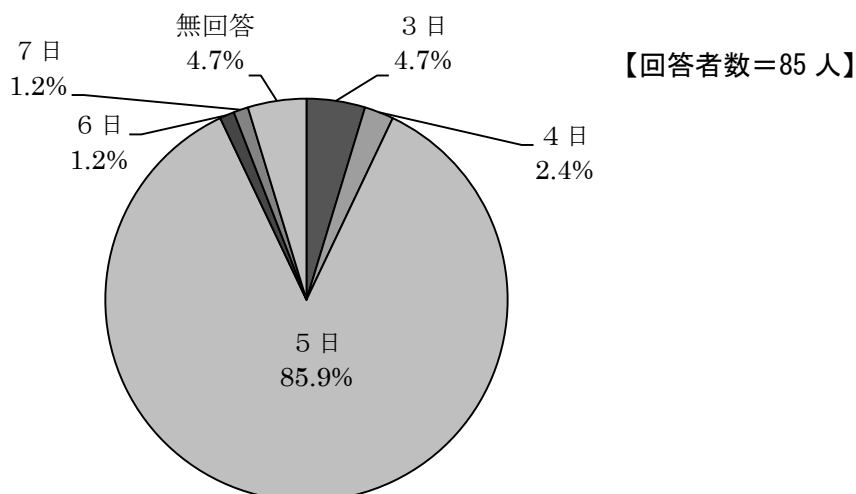


問23 幼稚園への利用変更の際、大事なこととして、「長時間預かりを実施している」を選んだ方の、

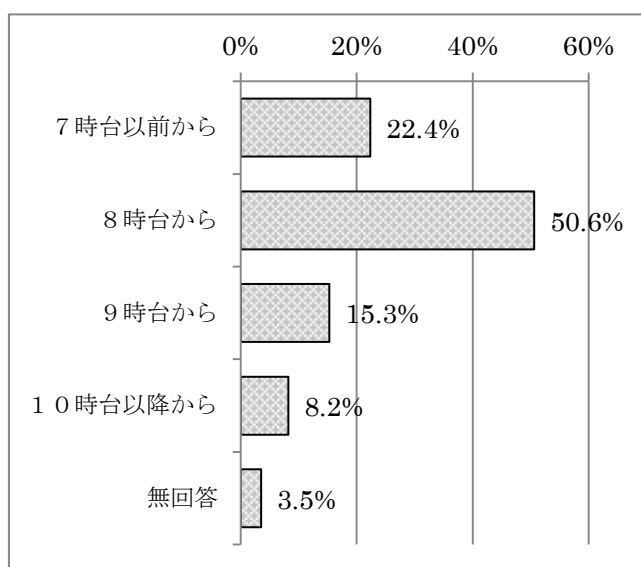
- 希望利用日数。
- 希望開始時間。
- 希望終了時間。

幼稚園への利用変更の際、大事なことは「長時間預かりを実施している」ことである場合、希望日数は「5日」が85.9%と大半を占めています。

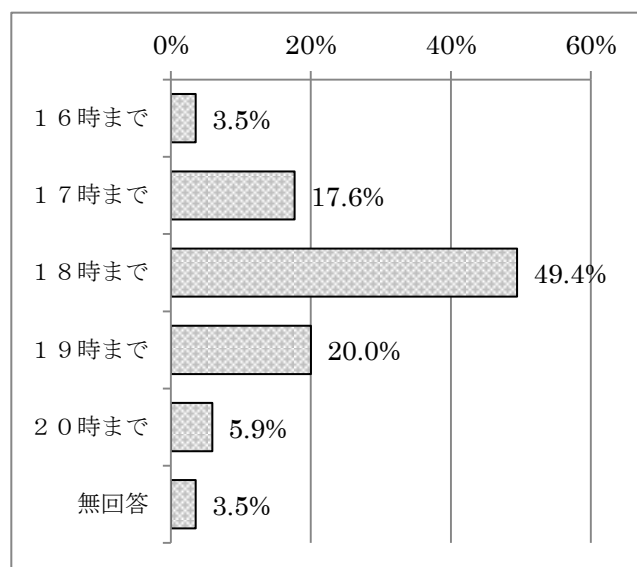
また、預かって欲しい時間の希望時間としては、開始時間「8時台から」が50.6%、終了時間「18時まで」が49.4%とそれぞれ最も高くなっています。



図表3-29 「長時間預かり」の場合の希望日数



図表3-30 預かってほしい午前の開始時間



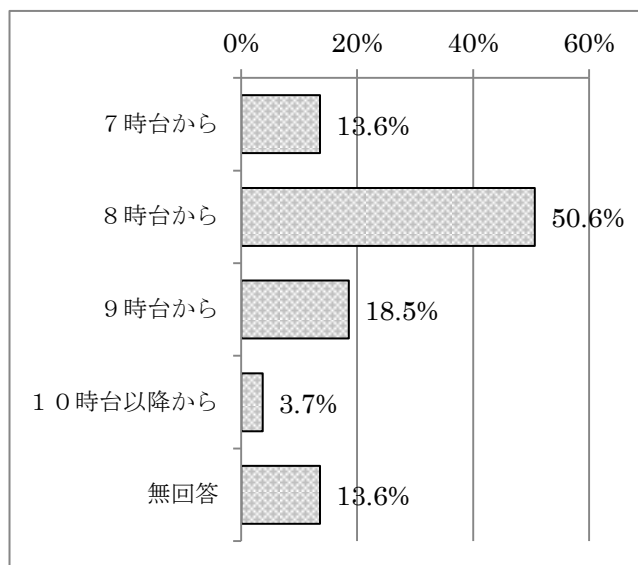
図表3-31 預かってほしい午後の終了時間

問23 幼稚園への利用変更の際、大事なこととして、「夏休みや冬休み期間も預かりをしている」を選んだ方の、

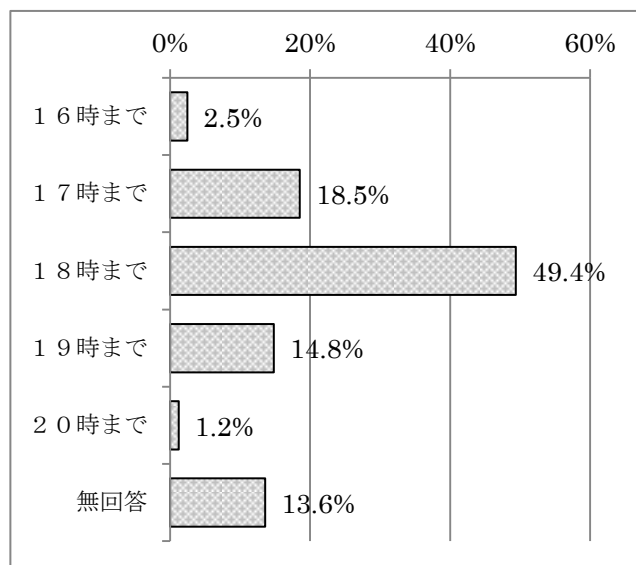
- 希望開始時間。
- 希望終了時間。

幼稚園への利用変更の際、大事なことは「夏休みや冬休み期間も預かりをしている」ことである場合、預かって欲しい時間の希望時間としては、開始時間「8時台から」が50.6%、終了時間「18時まで」が49.4%とそれぞれ最も高くなっています。

【回答者数=81人】



図表3-32 預かってほしい午前の開始時間

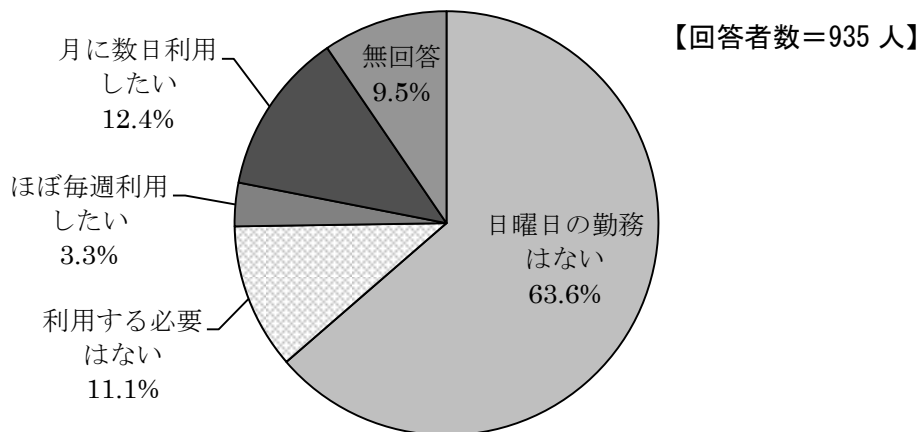


図表3-33 預かってほしい午後の終了時間

問24-1 日曜日、祝日に勤務がある方で、あて名のお子さんについて、

①日曜日に定期的な保育施設の利用を希望しますか。

日曜日・祝日に勤務がある方で、日曜日の定期的な保育施設の利用については、「ほぼ毎週利用したい」「月に数日利用したい」を合わせた15.7%が「利用したい」としています。



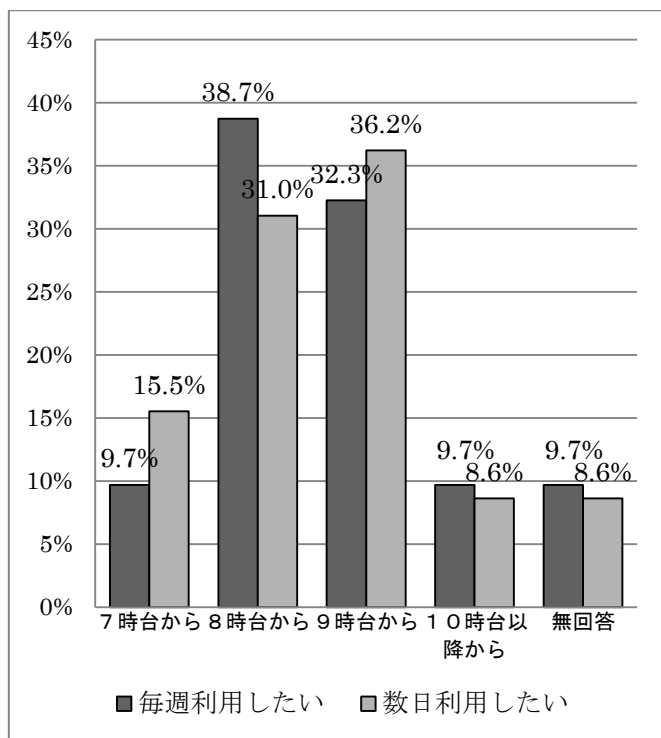
【回答者数=935人】

図表3-34 日曜日の定期的な保育施設の利用

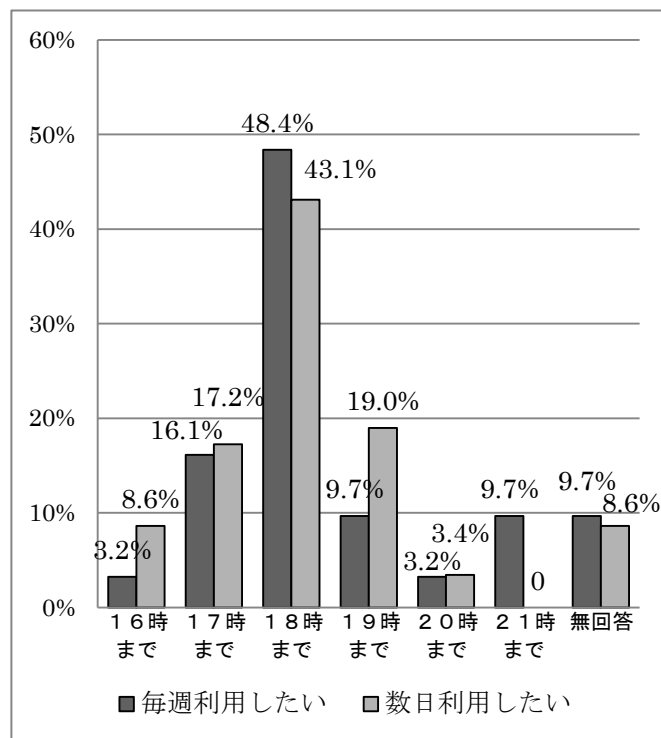
問24-1 日曜日、祝日に勤務がある方で、あて名のお子さんについて、

- 日曜日「ほぼ毎週利用したい」方の希望開始時間と終了時間。
- 日曜日「月に数日利用したい」方の希望開始時間と終了時間。

日曜日に「ほぼ毎週利用したい」場合、希望時間は「8時台」(38.7%)～「18時まで」(48.4%)が最も多く、「月に数日利用したい」場合は「9時台」(36.2%)～「18時まで」(43.1%)がそれぞれ最も高くなっています。



図表3-35 利用したい午前の開始時間

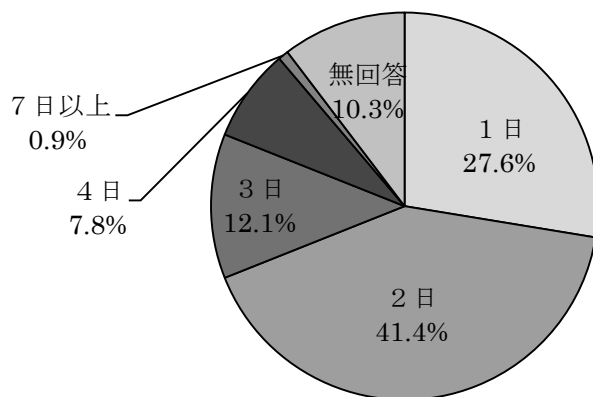


図表3-36 利用したい午後の終了時間

問24-1 日曜日、祝日に勤務がある方で、あて名のお子さんについて、

- 日曜日「月に数日利用したい」方の希望日数。

日曜日に勤務があり、「月に数日利用したい」場合の希望日数は、2日が41.4%と最も多くなっています。

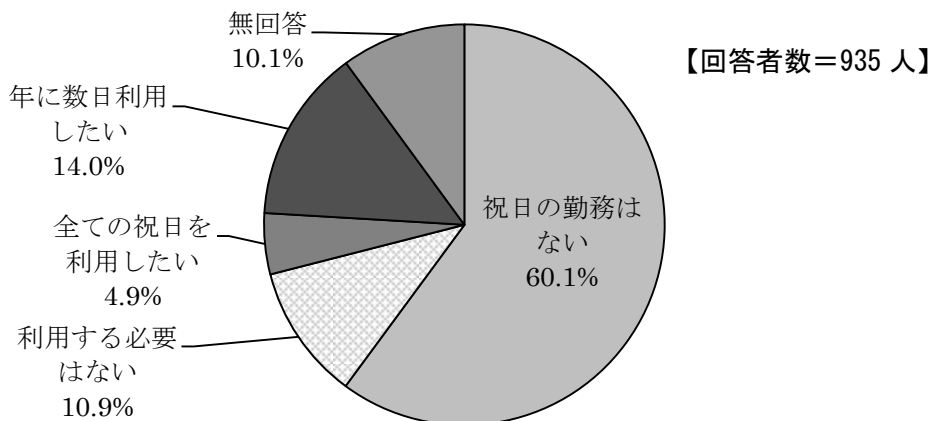


【回答者数=116人】

図表3-37 「月に数日」の場合の日曜日の希望日数

問24-2 日曜日、祝日に勤務がある方で、あて名のお子さんについて、  
②祝日に定期的な保育施設の利用を希望しますか。

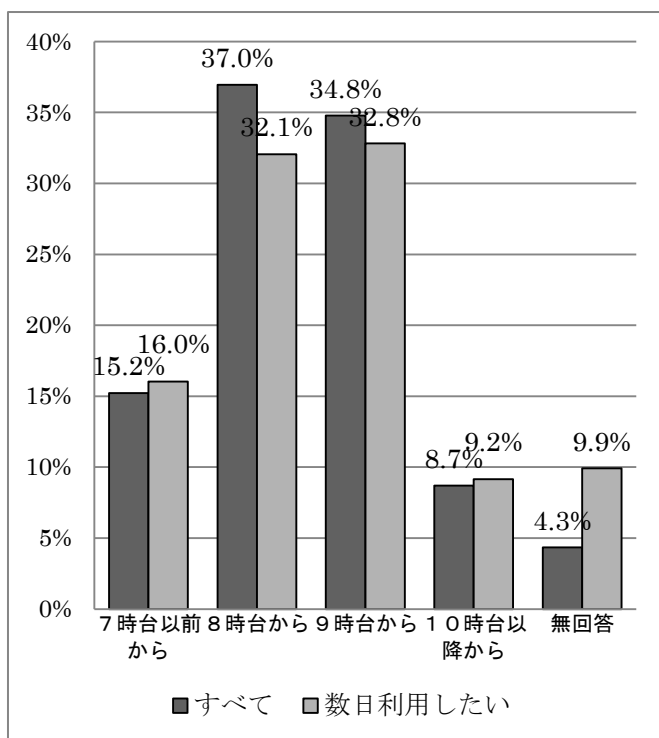
日曜日・祝日に勤務がある方で、祝日の定期的な保育施設の利用については、「年に数日利用したい」「すべての祝日を利用したい」を合わせた18.9%が「利用したい」として  
います



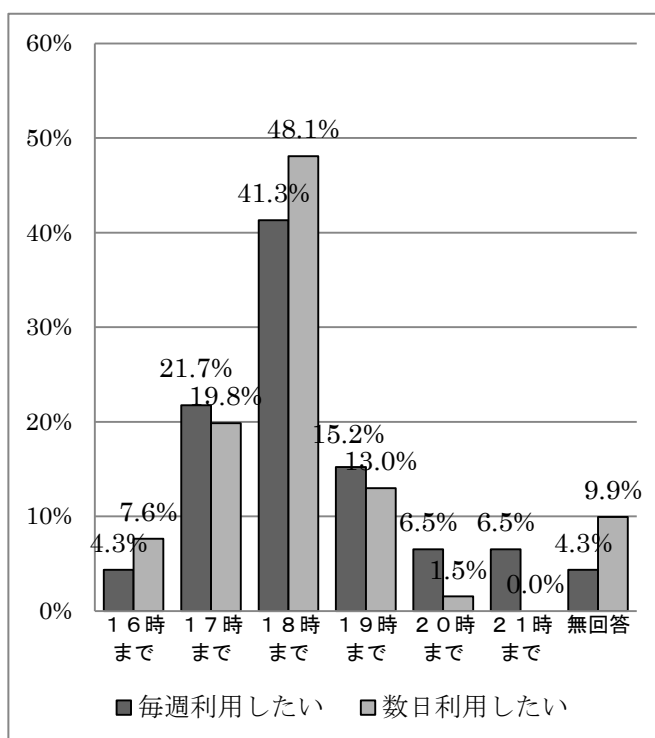
図表3-38 祝日の定期的な保育施設の利用

問24-2 日曜日、祝日に勤務がある方で、あて名のお子さんについて、  
■祝日「すべての祝日を利用したい」方の希望開始時間と終了時間。  
■祝日「年に数日利用したい」方の希望開始時間と終了時間。

祝日に「すべての祝日を利用したい」「年に数日利用したい」場合の希望時間は「8時台または9時台」～「18時まで」が多くなっています。



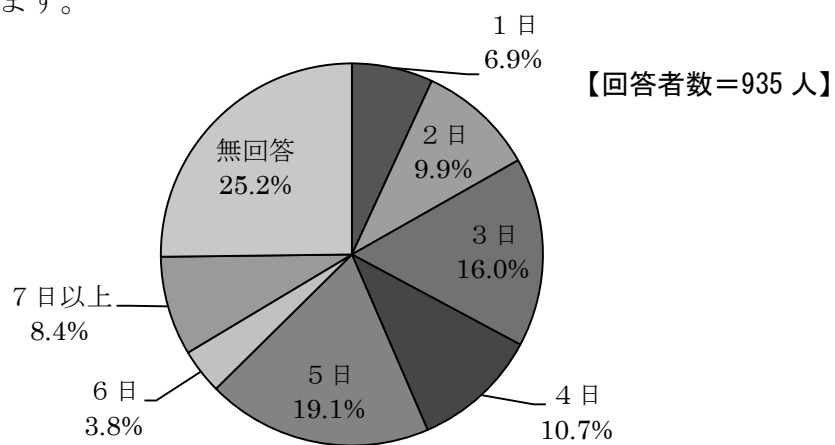
図表3-39 利用したい午前の開始時間



図表3-40 利用したい午後の終了時間

問24-2 日曜日、祝日に勤務がある方で、あて名のお子さんについて、  
■祝日「年に数日利用したい」方の希望日数。

祝日に「年に数日利用したい」場合、希望日数は「5日」が19.1%、次いで「3日」が16.0%となっています。



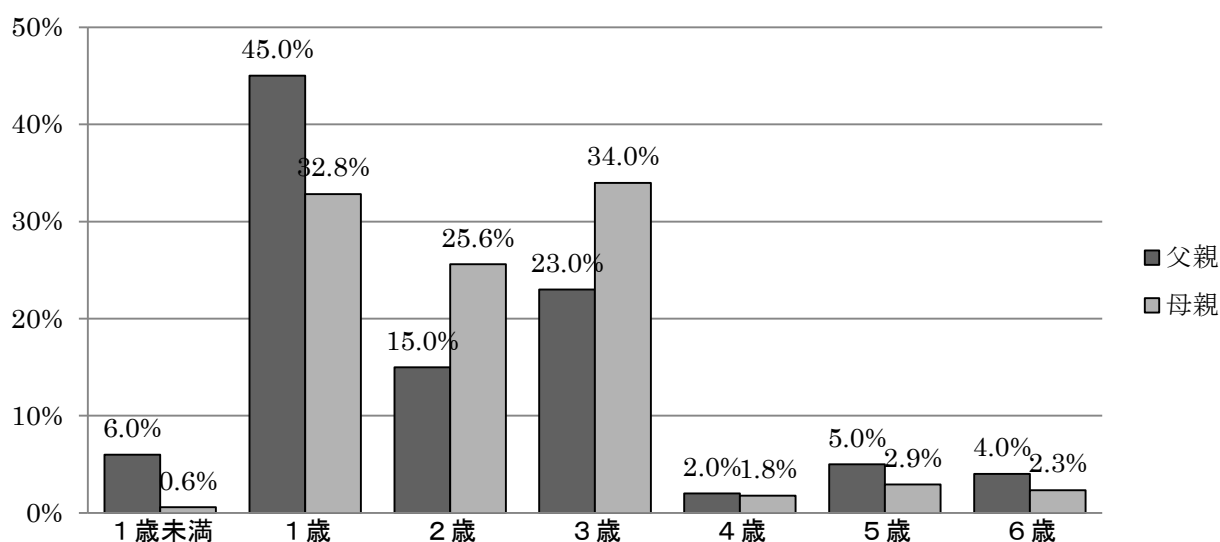
図表3-41 年に数回利用したい祝日の希望日数

## 4. 育児休業制度について

問25 職場復帰を希望する時期に、いつでも預けられる保育園や幼稚園があるとしたら、何歳まで育児休業を取得したいですか。

①父親 ②母親

何歳までに育児休業を取得したいかについては、父親が1歳(45%)、母親が3歳(34%)がそれぞれ最も高くなっています。

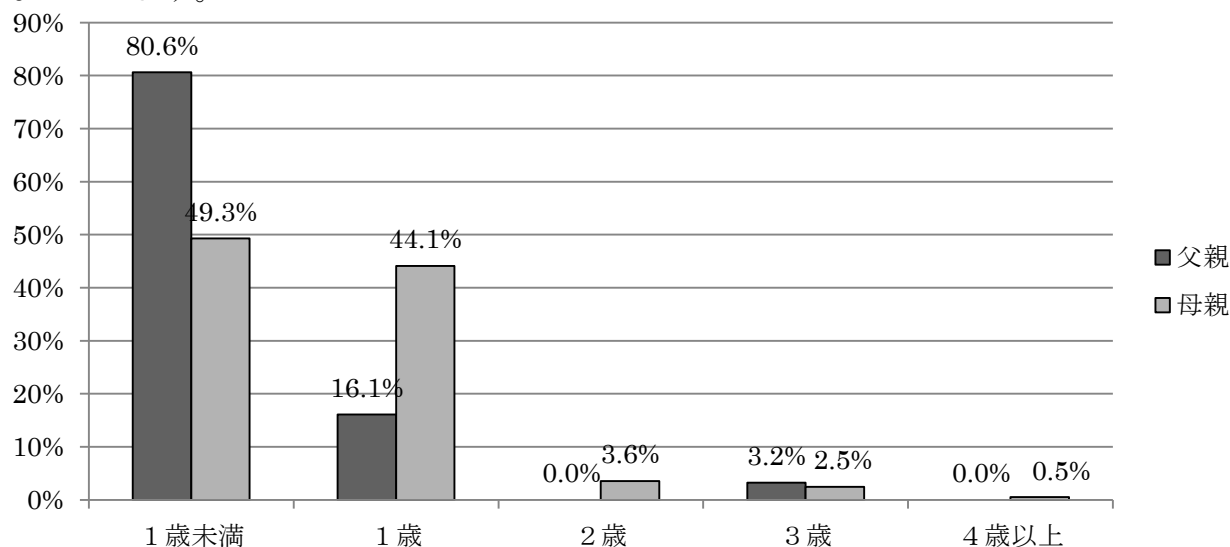


図表4-1 育児休業取得希望時期(父親/母親)

問26 育児休業取得後、職場に復帰した方に伺います。育児休業から実際に復帰したのは、お子さんが何歳の時ですか。

①父親 ②母親

育児休業取得後の職場復帰時期は、「1歳未満」が、父親80.6%、母親49.3%と最も高くなっています。



図表4-2 職場復帰時期(父親/母親)

問27 希望の時期に復帰できなかった（しなかった）理由は何ですか。

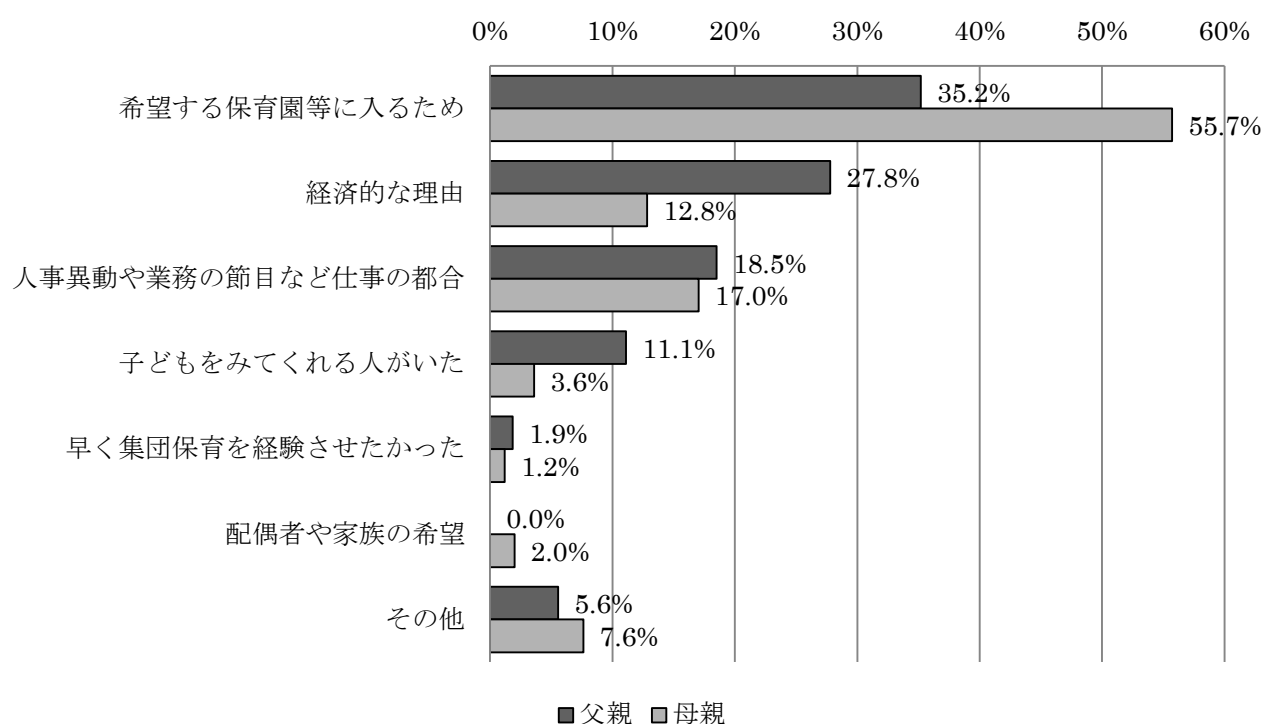
（あてはまる番号すべてに○）

《希望より早く復帰した方》 ①父親 ②母親

希望の時期に復帰できず（せず）、希望より早く復帰した方の理由としては、父親が「希望する保育園等に入るため」35.2%、次いで「経済的な理由」が27.8%となっています。

母親の理由としては、同様に「希望する保育園等に入るため」が55.7%と最も高く半数を占め、次いで「人事異動や業務の節目など仕事の都合」が17.0%となっています。

「その他」としては、「そもそも育児休業期間などなかった」（父親：コメント3件）、「0歳でないと入園しにくくなると思い申し込んだ」「4月以外は入園できない」「復帰しないと上の子が退園させられる」「育児休業取得が1年以内のため」などの理由が挙げられていました。（母親：コメント40件）



図表4-3 希望より早く職場復帰した理由（父親/母親）

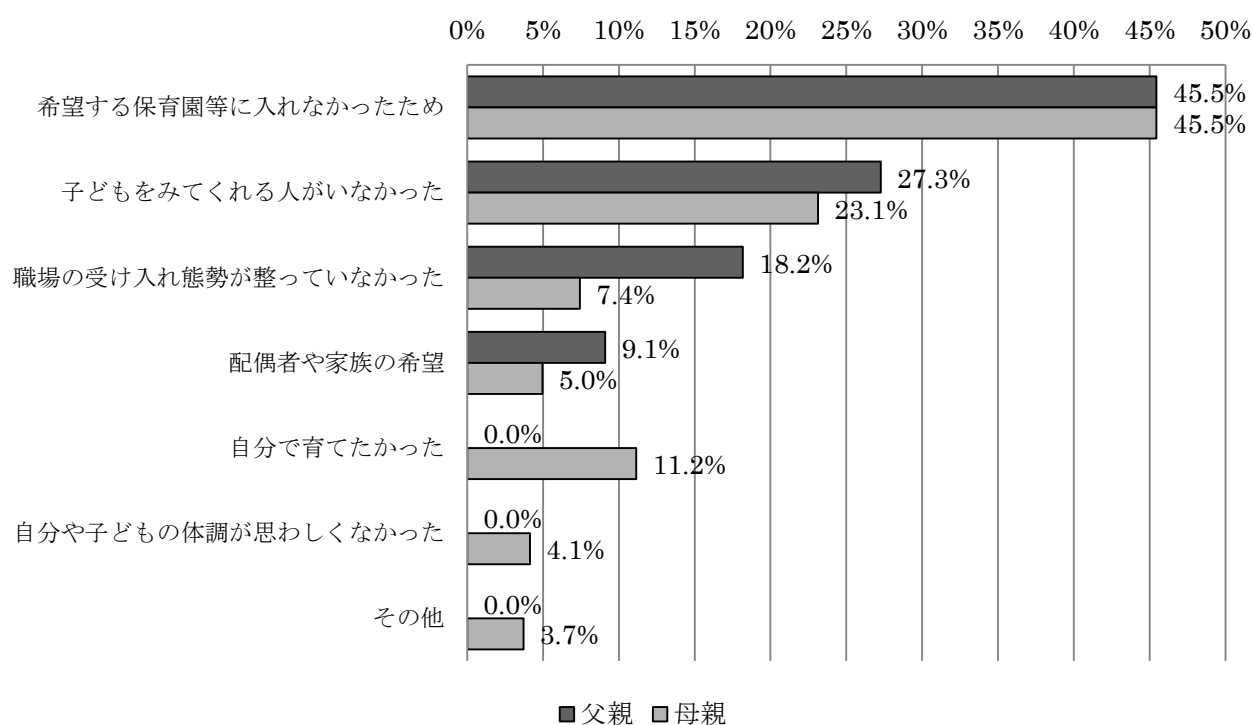
問27 希望の時期に復帰できなかった（しなかった）理由は何ですか。

（あてはまる番号すべてに○）

《希望より遅く復帰した方》 ①父親 ②母親

希望の時期に復帰できず（せず）、希望より遅く復帰した方の理由としては、父親・母親ともに「希望する保育園等に入れなかったため」が45.5%と最も多く、次いで「子どもを見てくれる人がいなかった」がいずれも2割台となっています。

「その他」として、「保育園に入れなかった」「就職先が見つからなかった」「適切な保育園が少ないため」などの理由が挙げられていました。（母親：コメント11件）



図表4-4 希望より遅く職場復帰した理由（父親/母親）



## 5. 区の子育て施策に関する意見・要望

(409人の自由意見について分類・要約して記載)

### 1 保育園の入園について 60件

- ・保育園に入園する為に出産する時期を調整したり、入園できず復帰を諦めたりと、産む側が毎回悩み、不安にさせられる環境を見直して欲しいです。
- ・再就職のための就活中（面接等）であっても、保育園で預かってもらえるようにしてほしい。仕事が決まってからしか保育園等の手続きができないのは、ほぼ再就職すると言われていたようなものだと思う。
- ・母親が学生のため認可保育園に入園できませんでした。学生がポイントが低くなるということは、就労よりも就学は大変ではない、子どもを育てられると判断しているようですが、この点が納得できません。
- ・双子に対する援助・加点がないことも大変困っています。他区では双子加点があるので、中野区でも導入してほしいです。
- ・フルタイム&正社員でないと保育園に入れない現状は子育てと仕事を両立させる女性には厳しいと思います！
- ・納税額が少ない人を優先にしないでほしい。高齢出産し、老後の資金は誰も面倒見てくれないのに不平等。
- ・育児休暇が2年になると聞いていますが、その場合は上の子が1才になるまでしか保育園にいられないようですが、そこについての整理も必要ははずです。
- ・兄弟・姉妹がいる場合、同じ園や同時期の入園（保育園）を考慮してほしい。

### 2 0歳児、1歳児の入園について 29件

- ・早生まれに対応する制度を作してほしい。平等ではないと思うので。
- ・私はシングルマザーで、2月生まれのため4月からの保育園に入れてもらえず苦勞した。育児休暇中で働いていない人は、別のどこかを用意してほしい。収入があって暮らしている人は、収入の低い人に保育園を譲ってほしいと心から思う。
- ・0才の4月に預けなくては保育園に入れない。行政で、4月入園でなくても預けられる仕組み作りをしてもらえれば、1才で入園したい家庭も多いはず。安心して子育てできる社会の実現を強く望みます。
- ・母親が出産後に仕事上の地位・能力・職場との関係を維持するには、早期復職が必要です。0歳児の保育枠は（コストがかかりますが）減らさずお願いします。
- ・本当は一才半くらいまで、子どもと過ごしたかったのですが、3か月で復帰して、0才から無認可に預けざるをえませんでした。認可の保育園に入りやすくなること。また、給与や昇給に響くので仕方がありませんでした。
- ・本当は保育園への入園は、できれば1才からと考えている母親は多いと思います。1才児クラスの入園枠を増やして欲しい。
- ・本当は2才くらいになるまで子供のそばにいたいのに、待機児童問題の為、0才で預けて働いており、日々大変辛いです。
- ・1歳、2歳の選択肢があれば、0歳であえて入れたいという人は少ないと思う。育休をきちんと最後まで使ったら、1歳2歳になる。

### 3 保育園の運営について 19件

- ・保育園はあくまで保育の場であるので、教育の面が不足しており、小学校入学時に幼稚

園の子と差がついているのではないかという不安があります。長時間預かってくれる幼稚園、教育を行う保育園があると助かります。

- ・保育園でも、幼児教育に力を入れて、カリキュラムを行ってほしいです。
- ・親としては「幼稚園の教育+保育園の保育時間」が理想です。
- ・やたらに保育園を増やし、質の低い園が多くなるのでは意味がない。保育園自体の質、職員の質を上げて欲しい。
- ・障害児も同じ保育時間で利用させてほしい。
- ・保育時間の開始を早くしてもらいたい。(7時15分や7時30分では仕事に間に合わないため)
- ・先生がすぐ代わってしまう。異動が多すぎて不安です。0歳の時の先生が、今はいない。
- ・枠が少なすぎて、延長保育をしてもらえない。

#### 4 保育園の増設・待機児童について 62件

- ・働きたいが、他に子供を見れる人が近くにいないので、面接などもいけず、求職もできない。早く保育園や週3日とか預けられる託児所でもよいので、整備してほしい。
- ・とにかく保育施設に入れるよう、枠を確保して欲しいです。職場復帰の目途が立たず、途方に暮れています。
- ・認証保育園を認可にするのではなく、保育園の数を増やして、待機児童をゼロにしてください。
- ・近隣に保育施設が少ないのに、新築マンションが増えている。保育施設を増やすor受入人数(児童)を増やして欲しい。
- ・対象の子の保活のため、入園希望の4月より前の12月に復職をし、無認可に入所させるなど、本来の希望とは異なる時期に復職しました。今後は希望に合わせて復職と入園ができるようなすてきな中野区になってほしいです。
- ・交通の便が良い場所に保育施設を増やして欲しいです。
- ・広い園庭のある保育園・こども園をもっと増やして欲しいです。
- ・0～2歳児までの保育施設ばかりが多くて、たとえ0～2歳までの園に入れたとしても、その先の3歳以降保育園に入れるのか、とても不安です。
- ・南部の保育園を増やして欲しい。
- ・東中野小学校跡地はなぜ保育施設をつくらないのですか？区立東中野幼稚園は子ども園や認可保育園にすることはできないのですか？
- ・東中野に認可保育園が少なすぎる。家庭的保育事業さえない。地域格差をどうにかして下さい。こども園が出来るまで待てません。
- ・認可の保育園について、地域によって園の数に差がある。特に新江古田近辺には園が少なく、デッドゾーンになっているので改善して欲しい。・中央四丁目や中野駅周辺の保育園が不足しています。早期対策をお願いします。
- ・中野区場合、駅や区役所付近の保育園、幼稚園が少なく、区立幼稚園もバスがない等、不便さを感じております。中心部にも区立幼稚園や保育園ができることを願います。
- ・上鷲宮地区に保育園を増やしてください。
- ・こども園の増設を強く希望します。

#### 5 保育園の民営化について 49件

- ・保育園の民営化より、まず、待機児童対策のために、新園を作ることを優先してほしい。
- ・中野区は区立園が本当に少ないと思うし、民営化に切替されていると思いますが、どうしてでしょうか？安心感という意見では、区立園が希望です。

- ・急な民営化で、民営化プロセスがとても雑に感じる。保護者の納得や理解を得ようとする姿勢が見えない。なぜ民営化なのか？新設で保育園数そのものを増やすべきだと思う。
- ・むやみな民営化には反対です。今の区立保育園の先生方が本当に素晴らしいので。ビジネスに走らない、子供のことを最優先に考えられる運営・管理をよろしくお願いします。
- ・区立保育園の民営化を進めているようですが、情報公開を行い、利用者・区民の理解を得ながら進めるようにして下さい。
- ・民営化を進めるのではなく、区立として幼稚園を維持して欲しい。働きたくても働けない（預け先がない）中野区の子育て施策は他区市町村に比べてやる気がないし、ムダが多い。
- ・区の幼稚園を民営化にして、今のすばらしい保育環境が変わってしまうことは反対だ。
- ・目の前の待機児童対策のみに注力するのではなく、幅広く子育てに対応してもらいたい。
- ・U18プラザや児童館の廃止が決定し、今後の育児に不安を感じています。気軽に利用でき、乳幼児親子にとってのシェルターのような存在がなくなってしまうと、路頭に迷う母親は大勢いると思います。
- ・上の子がいる中での妊娠中、児童館やU18にとっても助けていただきました。これからそういう施設が無くなると、公園に一緒に行って、体調がすぐれない中一緒に遊ばなければなりません。ぜひ、妊婦さんも安心して過ごせる子どもと一緒に過ごせる場所を作して下さい。
- ・U18や児童館がなくなると聞き、二人目以降を産んだらどこに行けばいいのか分かりません。すこやかは区内に少なく、乳児を抱えて行くには遠いです。

## 6 病児保育について 9件

- ・病児保育を充実させてほしい。保育園の利用時間、開始と終了をそれぞれ拡充してほしい。
- ・病後児保育施設の充実と拡大。職場復帰しても、子供の発熱・下痢等で預かってもらえず、働けない。

## 7 一時保育、預かり保育について 40件

- ・私立幼稚園に在園しておりますが、春休み・夏休み・冬休みに全く預かり保育を行っていないため、就労につくのが厳しいです。
- ・一時保育をより気軽にできるよう、定員を増やして欲しいです。予約したくてもすぐ定員になってしまい困っています。
- ・幼稚園の預かり保育の料金に差があり、高くて気軽に毎日使用できないところもあります。
- ・児童館で、短時間でもよいので預けられれば助かります。
- ・保育園に入園出来ず、幼稚園に入園した時、預かり保育が負担となるので、補助や改善をお願いします。
- ・一時保育施設がとても少ないと思います。特に江原町、江古田1丁目あたりには全然ありません。
- ・働いていなくても、一時預かりの出来る保育園が身近にあると助かると思いました。体調不良や妊娠等で困っているお母さん方が沢山います。
- ・日曜・祝日の保育が一部の園でも実現したら、画期的な事だと思います。
- ・保育園が不足しているからと言って、お手軽に、こども園という形で幼稚園に長時間保育を任せるのには無理がある。

## 8 保育園、幼稚園の情報に関すること 11件

- ・保育園と子ども園のそれぞれの教育方針や時間帯などの一覧表がほしいです。
- ・保育園の空き状況、申込み状況をリアルタイムで確認できるようシステム化してほしい。
- ・幼稚園の情報が少ないので、もう少し分かりやすい一覧があると助かる。
- ・幼稚園や保育園の募集要項が一覧になったものがあると助かります。(冊子)
- ・各々の施設(幼稚園)の説明会や面談日、願書配布日などの入園にあたり、必要な情報を区で一括して提示して欲しい。各々の個別HPから参照となると、どこを見ればよいか、どのタイミングで見ればよいか、手間取ります。
- ・区のサイトなどを参照しましたが、2才児のプレ保育の情報がほとんど入手できませんでした。もう少し幼稚園に入る前段階の情報告知を充実させて欲しいです。
- ・育児に関する施策の説明が不十分、分かりにくい。どういったサービスなどがあるのかわからないことが多く、区のサイトなどを見ても分かりづらい。
- ・障害者(児)の情報(この幼稚園は預かり可など)が欲しい。

## 9 幼稚園について 24件

- ・江古田の森東京病院のあたりに大規模マンションができるが、幼稚園が増える話は聞かない。3才はもちろん、4才でも入れないのではないかと不安。
- ・幼稚園に入れたまま復帰したかったが、中野区の幼稚園は預かりが充実していないためかなわなかった。前住地では預かりが充実していることで、働きながらも、充実した育児ができていた。
- ・庭なし保育園に通う園児のお散歩先の公園について、取り合いが発生しています。(ピッチング・ゲートボールをする高齢者や他園の園児)近隣の区立幼稚園の園庭解放を希望します。特に園が長期休みで使用していない時や幼稚園児帰宅後はもったいないです。
- ・幼稚園の保育料金が高額。預りの金額も高額。幼稚園の都合で、午前保育になる時に預かりをお願いする時もお金を払わなくてははいけない。
- ・一日中在宅で子育てしてます。中野区は公園が少ないので、幼稚園の園庭をもっともっと開放してほしいです。
- ・幼稚園で預かり保育を利用しながら働くことが出来、素晴らしい制度だと思っています。長期休業の預かり期間実施期間の短さは、働く上でかなり厳しいです。
- ・区立の幼稚園少なくないですか？周りに私立の幼稚園しかなく、プレに通わせないと入れないとか、入園のプレッシャーが今から不安です。区立の幼稚園増やして下さい。
- ・幼稚園のカリキュラムが多様化していて、魅力的なところもあり、行かせたいが、保育園のように長く預かってくれるわけでもなく、夏休み・冬休みがあるので、諦めなければならない。

## 10 子育て環境について 18件

- ・保育園に入園していなくても、施設を自由に利用できる子育てひろばを開いてほしい。入所している子との交流や、自由に遊べる場がほしい。
- ・保育園に行かない子がゆっくり遊べる公園がなく、例えば保育園児が園庭がわりに利用する公園は指定にするなどの工夫が必要かと思います。
- ・幼児の遊ぶ場所をもっと増やして欲しい。働く親だけでなく、専業主婦にも目を向けて欲しい。
- ・周辺の公園などのスペースが少なく、また、子供の成長を促す遊具が少ないので、利用したい時に場所の確保ができない。公園の充実化を希望したい。
- ・専業主婦として100%子育てと向き合っているママたちへのサポート(一時保育の枠を増やす、費用の軽減)、リフレッシュ等の支援の充実も考えてほしい。ママサポのようなグループや場所を増やして、育児ノイローゼやストレスから解放させてほしい。

- ・家庭で子どもを見る親にとっても過ごしやすい施設を作ってほしいと思います。子供と一対一で過ごすのは、想像以上に大変です。保育・子育てについて、今一度考えて頂きたいです。
- ・ママ友を作りやすいような、イベントや広場が欲しいです。
- ・子育てをされていて不便をととても感じる。歩行者・自転車の通行道路の整備、桜のある中野通りは特に子に乗せての自転車は辛い。
- ・中野駅にエレベーターが欲しいです。ベビーカーをエスカレーターで上り下りするのは不安です。

### 1 1 経済的負担について 15件

- ・保育料を安くしてほしい。
- ・収入が少しでも減らなければ、育児休業を利用して3才から預けたかったが、家計が厳しく難しかった。
- ・現行では、認可に通った家とそうでない家で全か無になってしまっている。一律補助などに変えてほしい。
- ・幼稚園に入れている家庭のことも費用面などで気にかけてほしい。(幼稚園に入れないばかり話題になるが)働く母親ばかり大切にしている行政に不満を感じます。
- ・他の区に比べて、幼稚園補助金が少ないと思います。
- ・幼稚園に入れている家庭のことも費用面などで気にかけてほしい。働く母親ばかり大切にしている行政に不満を感じます。

### 1 2 アンケートについて 15件

- ・認定こども園に入園している者にとっては、回答しにくい設問となっていました。
- ・育休など簡単に取得できるものではない事が、当たり前のように記載されていたので、区(国)と企業とでは認識が違ふと実感したアンケートでした。
- ・そもそも”企業”での”仕事”を中心のアンケートで、我が家のような自営業の事は全く考えてもらえていないと思う。
- ・このようなアンケートは、これから利用する人(子供が0~3歳とか、妊娠中の方も対象)に対して行わないと意味のある結果になりませんよ。

### 1 3 その他 61件

- ・保育施設を希望していましたが、いずれもかなわず、なんとか家庭的保育事業に入ることができました。ですが、就学まで入園できないため、また保活をする必要が出てきます。受け皿があるのかとても不安です。
- ・認証保育園がどんどん認可になっていきますが、そのために選択肢が減ってしまっています。(認可の場合、4月以外に入園することはほぼ不可能です。)
- ・現在求職中ですが、預け先の保育園が決まっていなくて採用はできないと言われました。しかし、保育園に入るには働いていないと入れず…。矛盾していると思います。
- ・保育→学童クラブにつながる一連の”切れ目のない施策”を考えて頂ければと思います。
- ・小学校入学後の学童保育の不足についても対応していただきたい。
- ・障害児、医療ケア児が入園出来る園を増やして欲しい。
- ・区立園は、特に乳児は持ち物が多く、補充場所や数のルールが覚えられず、父親が送りをするのに尻込みします。少しずつでもいいので、父親でも送りに抵抗を感じない様な保育園になってくれると、とても助かります。
- ・まだ子育ての経験もない幼稚園教諭は、幼児教育のプロではあるが、生活全般を任せるのでは負担が大きすぎ。仕事量が多すぎる。子供の対応に疲れを感じる。

- ・父親も育児休業が取れ、子どもと一緒にいる時間が増え、子育てができるようになったら良いなと感じますが、なかなか仕事も離れる事もできず、父親の育児休業取得のハードルの高さを感じます。
- ・保育園児が公園を利用する際のマナーに気を付けていただきたい。
- ・子ども園のように、保育園と幼稚園の隔たりがない施設がもっと増えれば、就労できる人も増えて、区も豊かになると思う。
- ・法で定められた人数とは思いますが、先生たちがギリギリの数で大変そうにみえる。給与を上げる、休みを増やす、人を増やす、園を増やすとともに、ステキな先生を育てる、増やす、続けてもらうための取り組みをして、報告してほしい。ステキな先生が子供たちを教えてくれるなら、保育料が上がっても不満ありません。